



NAS-RESCUE ADVANCED LANDISK



USB版

180日間 ライセンスキー

LANDISK データ取り出し

ログアウト ログイン中:

LANDISK 1台用 データ取り出し 2026/04/23 まで有効

ツール

ターミナル

ディスクユーティリティ

ファイルマネージャー

LANDISK データ取り出し

暗号化なし 暗号化あり

1台用

ストレージ HDD 接続

RAID 接続

2台用

拡張ボリューム 接続

RAID 接続

4台用

拡張ボリューム 接続

RAID 接続

6台用

拡張ボリューム 接続

RAID 接続

HDDクローン

Clone Meister

無料ライセンス

操作手冊書 お問い合わせ

終了

HDD 1 台用

NAS-RESCUE
ADVANCED
LANDISK

※LAN DISKとは、株式会社アイ・オー・データ機器より販売されているネットワークHDD製品を指します

かんたん操作でデータを救出!

- 操作マニュアル&ライセンスキー付きですぐ利用できる

LanDisk データ取出し HDD1 台用の使い方

本説明書とは、別に「LanDisk データ取り出し 共通操作説明書」が有ります。
「LanDisk データ取り出し 共通操作説明書」は、この操作説明書をダウンロードされた方は、この説明書の後半に連続しています。アマゾンやヤフーショッピング等で購入された方は、ピンク色の用紙以降に、掲載しています。

目次

第1章	LanDisk データ取出し HDD1 台用について	3
1.1	LanDisk データ取出し HDD1 台用の動作のしくみ	3
1.2	LanDisk データ取出し HDD1 台構成用の対応機種	3
第2章	前準備	5
2.1	入手ルート別、前準備の仕方	5
第3章	予備知識	6
3.1	LanDisk のパーティション構成は大きく分けて3種類	6
3.1.1	ノーマルタイプ	6
3.1.2	RAID メンバー	7
3.1.3	拡張パーティション中にデータ・パーティションが存在	7
第4章	基本操作	8
4.1	NAS-RESCUE ADVANCED の起動とログイン	8
4.2	「ディスクユーティリティ」アイコンをクリック	9
4.2.1	ノーマルタイプの場合	10
4.2.2	RAID メンバーの場合	12
4.2.3	拡張パーティション中にデータ・パーティションが存在する場合	14
4.3	復旧データの確認	16
4.4	復旧したデータを保存	16
4.5	詳細なデータ復旧を行う必要が有る場合	17

略称

HDD・・・ハードディスク PC・・・パソコン

NAS・・・LanDisk や TeraStation などのネットワークで繋がる記憶装置

第1章 LanDisk データ取出し HDD1 台用について

本章では NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取出し HDD1 台用(以後、LanDisk データ取出し HDD1 台用と表記します)について説明します。

1.1 LanDisk データ取出し HDD1 台用の動作のしくみ

I-OData 社製 LanDisk は、Linux 版、Windows 版のファイルサーバーです。LanDisk データ取出しは、Linux 版の LanDisk にのみ対応しています。

LanDisk データ取出しは、LanDisk のサーバー部分を PC 上に構築します。

ファイルサーバーを PC 上に構築することで、LanDisk の HDD へのアクセスは、データ・パーティションに限られる為に、故障した LanDisk からデータを取り出す可能性が出てきます。

1.2 LanDisk データ取り出し HDD1 台構成用の対応機種

LanDisk データ取り出し HDD1 台用は、I-OData 社製 LanDisk のこれまでに発売されてきた、全機種に対応しています。

No	シリーズ名	ラインアップ
1	HDL1-LEN	HDL1-LE01N、HDL1-LE02 N、HDL1-LE04 N、 HDL1-LE06 N、HDL1-LE08 N
	HDL-AAXW	HDL-AAX1W、HDL-AAX2W、HDL-AAX3W、 HDL-AAX4W、HDL-AAX6W、HDL-AAX8W
2	HDL1-LE	HDL1-LE01、HDL1-LE02、HDL1-LE04、 HDL1-LE06、HDL1-LE08
3	HDL1-LE/E	HDL1-LE02/E、HDL1-LE04/E、 HDL1-LE06/E、HDL1-LE08/E
4	HDL1-LA	HDL1-LA02、HDL1-LA04
5	HDL1-LA/E	HDL1-LA02/E、HDL1-LA04/E、 HDL1-LA06/E、HDL1-LA08/E
6	HDL	HDL-120U、HDL-160U、HDL-250U、 HDL-300U
7	HDL-A	HDL-A1.0、HDL-A2.0、HDL-A3.0
8	HDL-A/E	HDL-A2.0/E
9	HDL-AR	HDL-A2.0R、HDL-A3.0R
10	HDL-ART	HDL-A2.0RT、HDL-A3.0RT
11	HDL-AR/E	HDL-A2.0R/E

表 1.1.HDD1 台構成の LanDisk のラインアップ

No	シリーズ名	ラインアップ
12	HDL-AS	HDL-A2.0S、HDL-A3.0S
13	HDL-AA	HDL-AA1、HDL-AA2、HDL-AA3、HDL-AA4、 HDL-AA6
14	HDL-AA/E	HDL-AA2/E、HDL-AA3/E、HDL-AA4/E、 HDL-AA6/E
15	HDL-AAW	HDL-AA1W、HDL-AA2W、HDL-AA3W、 HDL-AA4W、HDL-AA6W
16	HDL-AAX	HDL-AAX1、HDL-AAX2、HDL-AAX3、 HDL-AAX4、HDL-AAX6、HDL-AAX8
17	HDL-AAX/E	HDL-AAX2/E、HDL-AAX3/E、 HDL-AAX4/E、HDL-AAX6/E、HDL-AAX8/E
18	HDL-AH	HDL-AH1.0、HDL-AH2.0、HDL-Ah3.0
19	HDL-AHW	HDL-AH1.0W、HDL-AH2.0W、HDL-Ah3.0W
20	HDL-C	HDL-C500、HDL-C1.0、HDL-C1.5
21	HDL-C/EC	HDL-C1.0/EC、HDL-C1.5/EC
22	HDL-CE	HDL-C1.0、HDL-C2.0、HDL-C3.0
23	HDL-CEB	HDL-C1.0B、HDL-C2.0B、HDL-C3.0B
24	HDL-CES	HDL-C1.0S、HDL-C2.0S、HDL-C3.0S
25	HDL-F	HDL-F160、HDL-F250、HDL-F300、 HDL-F320
26	HDL-G	HDL-G160U、HDL-G250U、HDL-G300U、 HDL-G320U
27	HDL-GS	HDL-GS250、HDL-GS320、HDL-GS500、 HDL-GS1.0T
28	HDL-GW	HDL-GW500U
29	HDL-GZ	HDL-GZ1.0TU
30	HDL-GX	HDL-GX160、HDL-GX250、HDL-GX300、 HDL-GX400、HDL-GX500、HDL-GX750
31	HDL-GXR	HDL-GX160R、HDL-GX250R、HDL-GX300R、 HDL-GX400R、HDL-GX500R、HDL-GX750R
32	HDL-S	HDL-S500、HDL-S1.0、HDL-S1.5、HDL-S2.0
33	HDL-T	HDL-T1NV、HDL-T2NV、HDL-T3NV、 HDL-T1WH、HDL-T2WH、HDL-T3WH
34	HDL-TAS	HDL-TS120、HDL-TS240
35	HDL-TC	HDL-TC500、HDL-TC1

表 1.1.HDD2 台構成の LanDisk のラインアップ

第2章 前準備

本章では、LanDisk データ取り出し HDD1 台用を、実際に使えるようになるまでの、前準備について、入手ルート別に説明します。

2.1入手ルート別、前準備の仕方

本章では、Amazon や Yahoo ショッピングから購入された方をパッケージ版、NAS-RESCUE ADVANCED をダウンロードされた方をダウンロード版と呼ぶことにします。

下表の手順に従い、前準備をお願いします。

参照先の「**LanDisk データ取り出し 共通操作説明書**」は、

パッケージ版の方は、後半のピンクの用紙以降になります。

ダウンロード版の方は、本説明書の後半になります。

No	手順	パッケージ版	ダウンロード版	参照先 LanDisk データ取り出し 共通操作説明書
1	ダウンロード		○	2.1.ADVANCED のダウンロード(P5)
2	USB メモリへのインストール		○	2.2.USB メモリへのインストール(P5)
3	BIOS 設定	○		2.3.BIOS の設定(P9)
4	PC 起動	○		2.4.起動の順番を USB に変更して ADVANCED を起動(P9)
5	LAN 設定	○		2.5.ADVANCED が起動したら、LAN 接続を確認(P10)
6	ユーザー登録	○		2.6.システムを起動して、ユーザー登録(P13)
7	ライセンスキー入力	○		3.1.ライセンスコードの登録(P18)
8	ライセンス購入		○	3.2.ライセンスの購入(P20)

表 2.1.入手ルート別前準備の手順と、参照先

第3章 予備知識

本章ではLanDisk データ取り出し HDD1 台用を操作する上で必要な予備知識を説明します。

3.1 LanDisk のパーティション構成は大きく分けて 3 種類

共通操作説明書の「第6章 ディスクユーティリティでHDDの状態を確認」を参照して、LanDisk 内蔵の HDD のパーティション図を確認します。

もし、LanDisk の内蔵の HDD が、図 3.1～図 3.3 のように、きれいにパーティション分けされていない場合は、共通操作説明書の「第6章 ディスクユーティリティでHDDの状態を確認」の「6.3 パーティション図の表示内容と対処方法」を参考に対処することになります。

3.1.1 ノーマルタイプ



図 3.1. ノーマルタイプのパーティション図

3.1.2 RAID メンバー



図 3.2. RAID メンバーのパーティション図

3.1.3 拡張パーティション中にデータ・パーティションが存在



図 3.3. 拡張パーティション中にデータ・パーティションが存在

第4章 基本操作

本章ではNAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出し HDD1 台用の基本操作を説明します。

「第2章 前準備」が終了している、という設定です。

4.1 NAS-RESCUE ADVANCED の起動とログイン

LanDisk の HDD を PC に接続した状態で、NAS-RESCUE ADVANCED を起動します。



図 4.1. LanDisk データ取り出し HDD1 台用の起動時の画面

4.2 「ディスクユーティリティ」アイコンをクリック

LanDisk の HDD が接続されていることを確認し、「ディスクユーティリティ」アイコンをクリックします。



図 4.2. 「ディスクユーティリティ」アイコンをクリック

LanDisk の HDD をクリックします。



図 4.3. ディスクユーティリティ HDD の選択

「第3章 予備知識」で説明した、データ・パーティションを確認し、それぞれのパターン別に処理を実行します。

4.2.1 ノーマルタイプの場合



図 4.4. ノーマルタイプのパーティション図

データ・パーティションが、「ノーマルタイプ」の場合は、「HDD 接続」をクリックします。



図 4.5. 「HDD 接続」をクリック

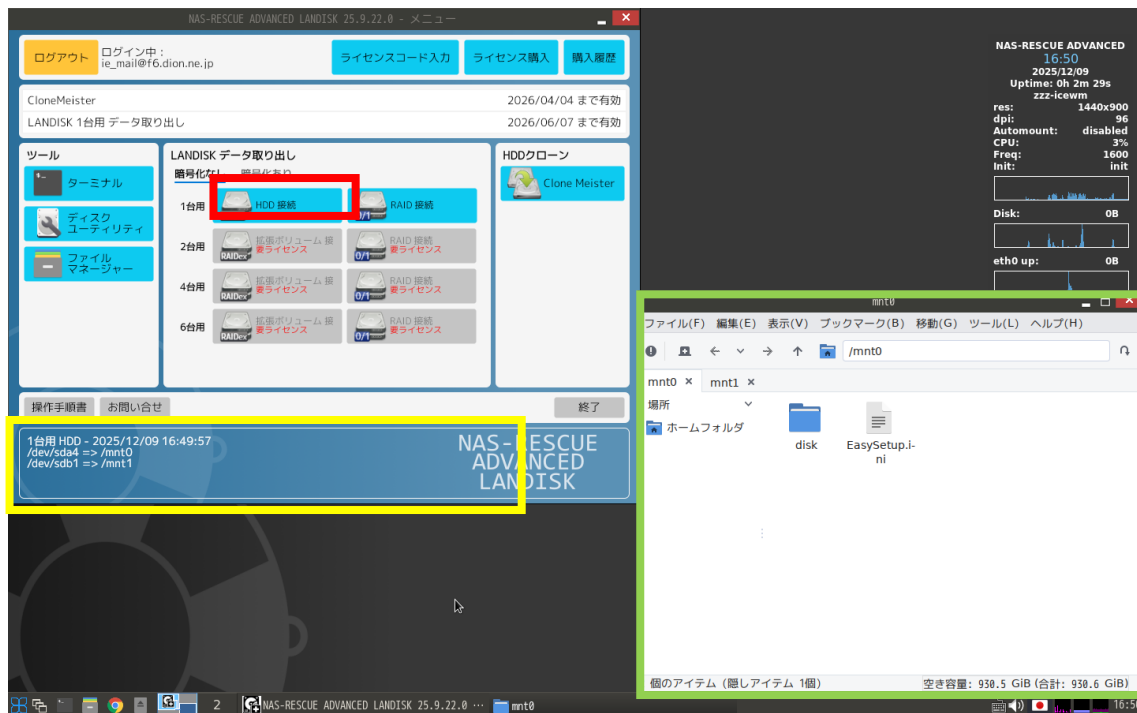


図 4.6. 正常にデータ復旧できた後の画面表示

メニュー画面下（黄色枠）に、コマンド実行結果が表示されます。このコマンド実行結果は、ログとして、デスクトップに一時的に保存されます。データ復旧が成功すると、別ウィンドウでファイルマネージャーが起動します。（薄緑色枠）

もし、データが見えなかった場合は、「4.5 詳細なデータ復旧を行う必要が有る場合」を参照して下さい。

4.2.2 RAID メンバーの場合



図 4.7. RAID メンバーのパーティション図

データ・パーティションが、「RAID メンバー」の場合は、「RAID 接続」をクリックします。



図 4.8. 「RAID 接続」をクリック

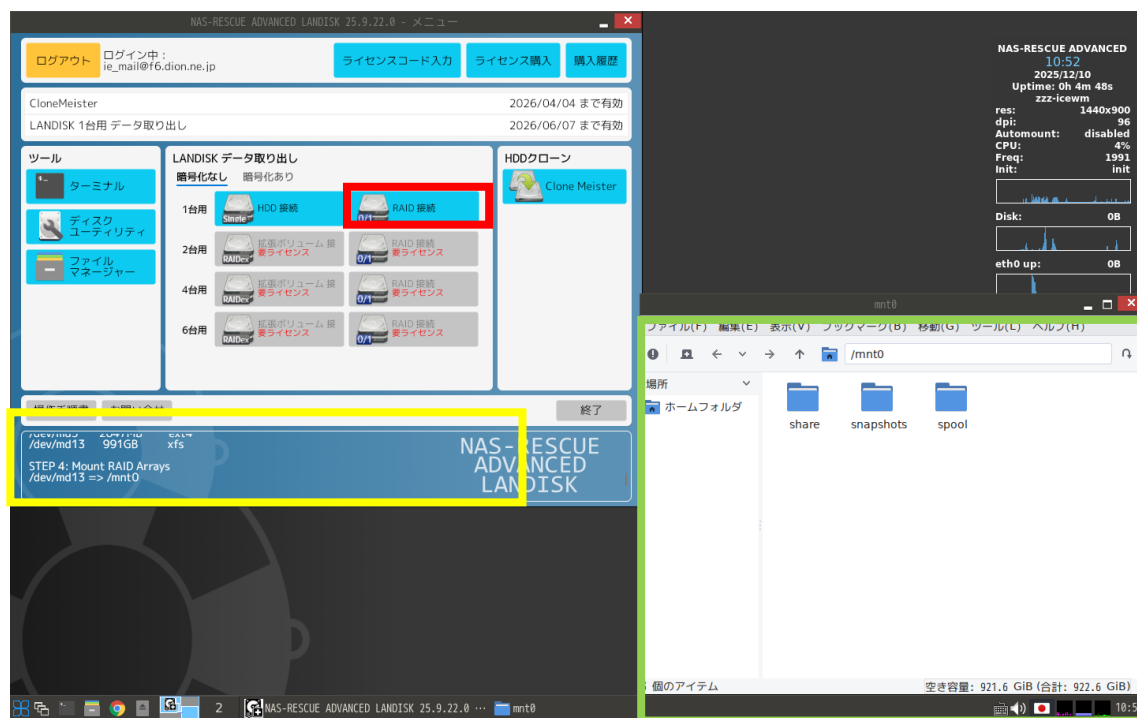


図 4.9. 正常にデータ復旧できた後の画面表示

メニュー画面下（黄色枠）に、コマンド実行結果が表示されます。このコマンド実行結果は、ログとして、デスクトップに一時的に保存されます。データ復旧が成功すると、別ウィンドウでファイルマネージャーが起動します。（薄緑色枠）

もし、データが見えなかった場合は、「4.5 詳細なデータ復旧を行う必要がある場合」を参照して下さい。

4.2.3 拡張パーティション中にデータ・パーティションが存在する場合

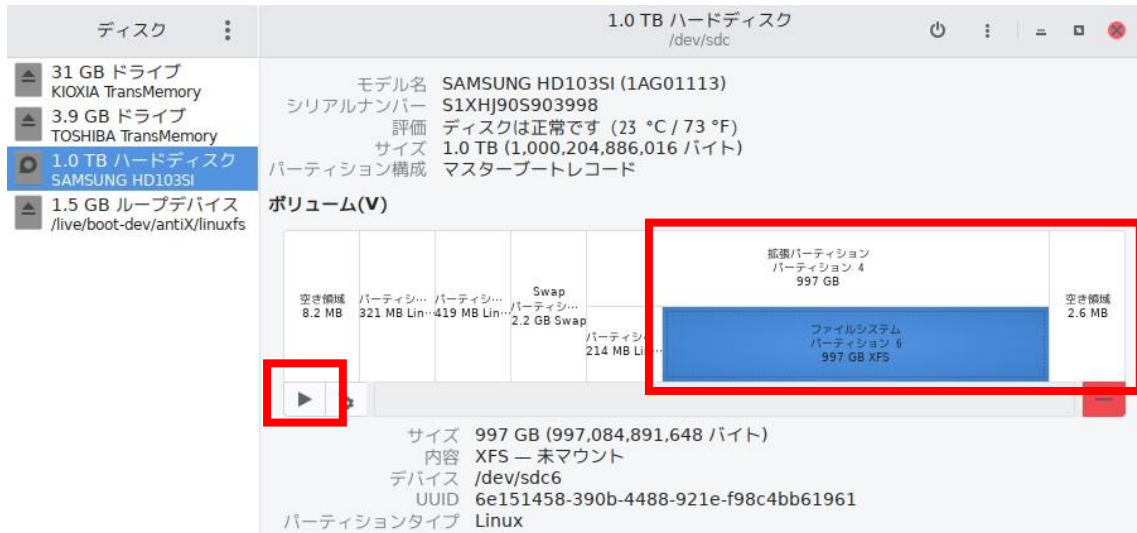


図 4.10. 拡張パーティション中にデータ・パーティションが存在

データ・パーティションをクリックした後、パーティション図の左下の右向き三角のアイコンをクリックします。

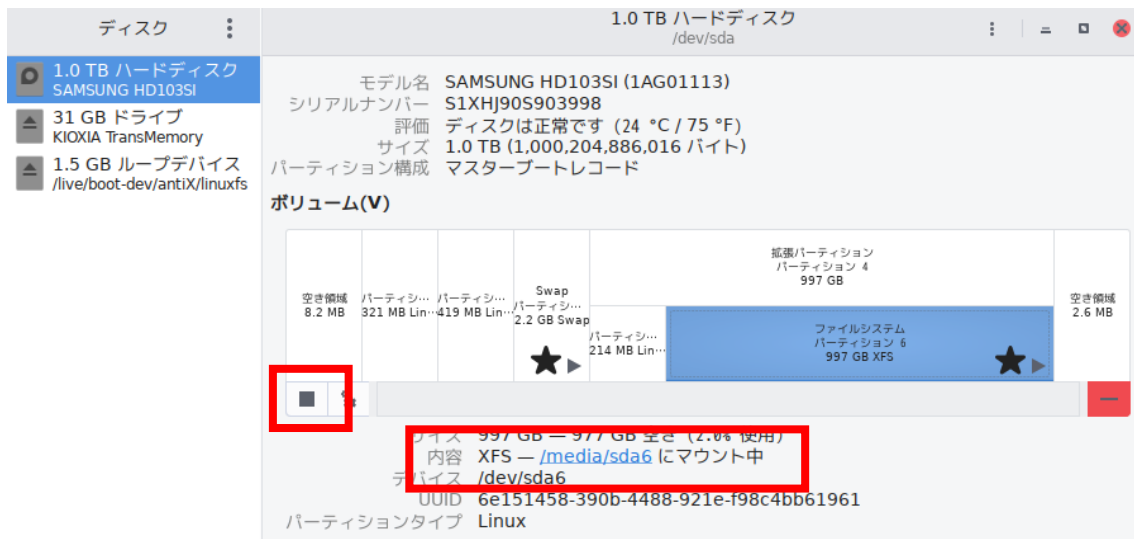


図 4.11. データ・パーティションがマウント

右向き三角のアイコンが四角のアイコンに変化し、
内容の箇所に XFS [/media/sda6](#) にマウント中に変化します。
[/media/sda6](#) をダブルクリックします。

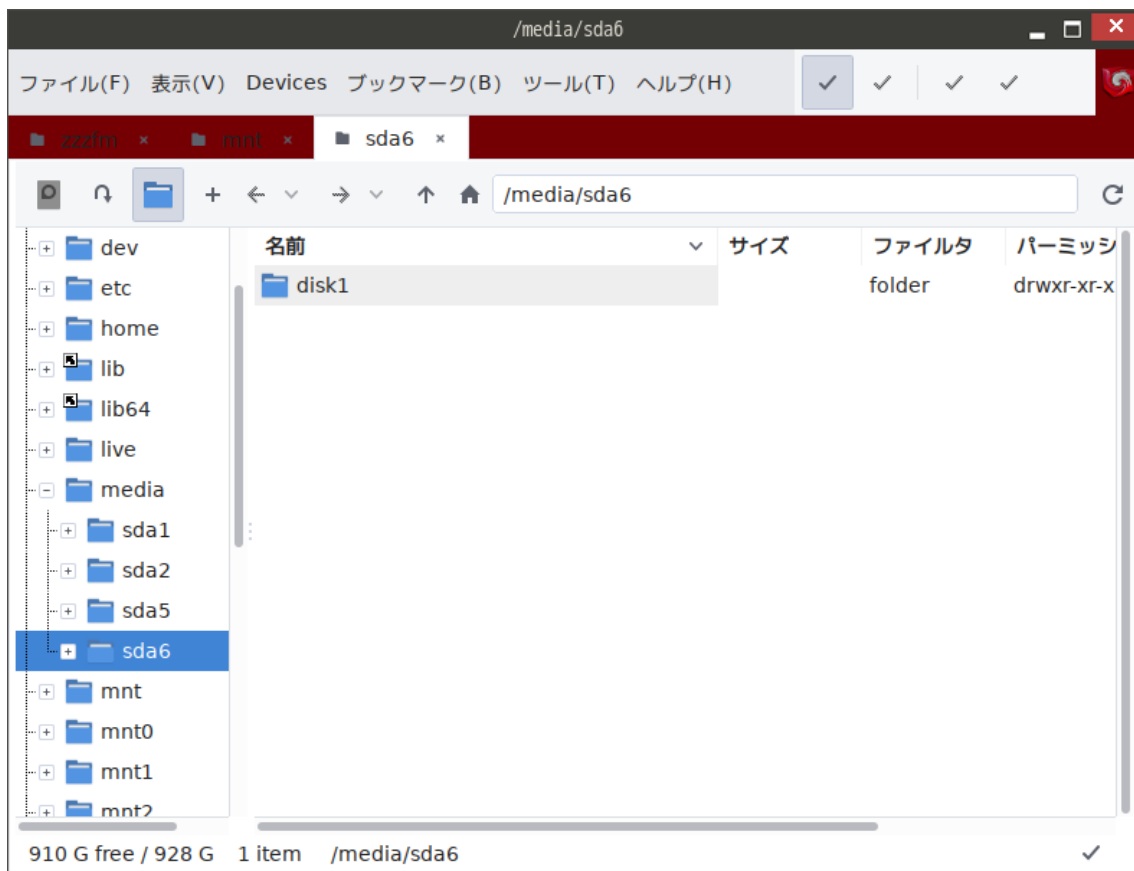


図 4.12. `/media/sda6` のファイルマネージャー

もし、データが見えなかった場合は、「4.5 詳細なデータ復旧を行う必要が有る場合」を参照して下さい。

4.3 復旧データの確認

ファイルマネージャーを操作して、データ復旧が正しく行われているか、確認します。

もし、データ復旧の結果が思わしくなかった場合は、「4.5. 詳細なデータ復旧を行う必要が有る場合」を参照した上で、第5章以降に詳述している、RAID構成毎のデータ復旧の方法を参照下さい。

4.4 復旧したデータを保存

復旧したデータを保存するには、

- ① NAS-RESCUE の起動している PC に、USB 接続した HDD 等に保存する
- ② 同じネットワーク内の NAS 等へ保存する
- ③ 同じネットワーク内の PC から、NAS-RESCUE の起動している PC に接続して、保存する

という方法があります。

詳しくは、

「LanDisk データ取り出し 共通操作説明書」の「第4章 復旧したデータを保存する方法」を参照下さい。

もし、データのコピー中にエラーが発生した場合、RAID を構成している HDD のいずれかで、Read エラーが発生していると考えられます。「4.5. 詳細なデータ復旧を行う必要が有る場合」を参照した上で、第5章以降に詳述している、RAID 構成毎のデータ復旧の方法を参照下さい。

4.5 詳細なデータ復旧を行う必要が有る場合

データの取出しに失敗する原因を特定するには、

- 1) HDD の状態
 - 2) HDD のデータ・パーティションの状態
- の二個の状態を確認する必要が有ります。

- 1) HDD の状態を確認するには、

「LanDisk データ取り出し 共通操作説明書」第 6 章 ディスクユーティリティで HDD の状態を確認」を参照し、HDD が、PC に認識されているか、どうかを判定する事になります。HDD が PC で認識されない場合、「重度の物理障害」と判定され、自力でのデータ復旧は、不可能になります。

- 2) HDD のデータ・パーティションの状態を確認するには、

「LanDisk データ取り出し 共通操作説明書」第 6 章 ディスクユーティリティで HDD の状態を確認」を参照し、データ・パーティションに、RAID メンバーという表示が有るかを確認する必要が有ります。

もし、HDD のデータ・パーティションが確認できたが、「RAID メンバー」という表示ではなく、例えば「不明」などとの表示の場合は、HDD のクローンを作成することで、解消する場合があります。詳しくは、「LanDisk データ取り出し 共通操作説明書」第 7 章 HDD のクローンを作成する方法」を参照して下さい。

尚、「LanDisk データ取り出し 共通操作説明書」第 5 章 こんな時は？」には、

- 「5.1. LanDisk の HDD を接続したが、認識しない」
- 「5.2. 必要なデータが見えなかった場合」
- 「5.3. データのコピー中にエラーが発生した場合」
- 「5.4. コピー中に「カチッ、カチッ」と音が鳴り出した場合」

の Q&A を設けています。データ復旧のヒントになるかもしれません。

LanDisk データ取り出し 共通操作説明書

- ・ HDD1 台構成用
- ・ HDD2 台構成用
- ・ HDD4 台構成用
- ・ HDD6 台構成用
- ・ 暗号化ボリューム用

目次

第1章	NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出しシリーズ	3
1.1	NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出しシリーズとは	3
1.2	シリーズの販売形態とライセンスとの関係	3
1.3	ライセンス購入の方法	4
第2章	ADVANCED のダウンロード、そして起動とユーザー登録	5
2.1	ADVANCED のダウンロード	5
2.2	USB メモリへのインストール	5
2.2.1	USB メモリの用意	5
2.2.2	フリーの ISO 書き込みソフト「Rufus」をダウンロード	5
2.2.3	USB メモリにインストール	6
2.3	BIOS の設定	9
2.4	起動の順番を USB (DVD) に変更して、ADVANCED を起動	9
2.5	ADVANCED が起動したら、LAN 接続を確認	10
2.6	システムを起動してユーザー登録	13
第3章	ライセンスの登録、もしくは購入	18
3.1	ライセンスコードの登録	18
3.2	ライセンスの購入	20
第4章	復旧したデータをコピーする方法	24
4.1	USB 外付け HDD を PC に接続してコピー	24
4.2	同一ネットワークの NAS 等にコピー	26
4.2.1	NAS の設定例	26
4.2.2	端末画面の起動と、コマンドの入力	26
4.2.3	ファイルマネージャーを開く	27
4.3	同一ネットワーク内の他の PC から接続してコピー	29
4.3.1	NAS-RESCUE の PC の IP アドレスを確認	29
4.3.2	IP アドレスを指定して、NAS-RESCUE が起動している PC に接続	30
第5章	こんな時は？	31
5.1	LanDisk の HDD を接続したが、認識しない	31
5.2	必要なデータファイルが見えなかった場合	32
5.3	データのコピー中にエラーが発生した場合	32
5.4	コピー中に「カチッ、カチッ」と音が鳴りだした場合	32
第6章	ディスクユーティリティで HDD の状態を確認	33
6.1	ディスクユーティリティを起動	33
6.2	HDD の詳細とパーティション図の見方	35
6.3	パーティション図の表示内容と対処方法	36
6.3.1	「サイズ」が表示されず、「メディアなし」と表示	36
6.3.2	2TB のハードディスクの容量が 4.1GB と表示される	37
6.3.3	パーティションが 1 個も無い	38
6.3.4	データ・パーティションに、「未知」とか「Unknown」と表示される	39
第7章	HDD のクローンを作成する方法	40

7.1	Read エラーが発生している HDD の状態	40
7.2	Read エラーが発生している箇所と表示データの関係	41
7.2.1	HDD の先頭で Read エラーが発生している場合	41
7.2.2	パーティションの先頭で Read エラーが発生している場合	41
7.2.3	データ・パーティション内で Read エラーが発生した場合	41
7.3	パソコンがHDDからデータを読む方法	42
7.3.1	パソコンがHDDからデータをReadする方法	42
7.3.2	CloneMeisterのコピーの仕方	43
7.3.3	CloneMeister を使ってクローンを作成した結果	44
第 8 章	お問い合わせの仕方	45
8.1	弊社で必要な情報	45
8.2	操作手順	45
8.2.1	「お問い合わせ」ウィンドウを表示	45
8.2.2	ディスクユーティリティ画面のハードコピーを添付	46
8.2.3	ターミナル画面のハードコピーを添付	47
8.2.4	お問合せ内容を入力	48
8.2.5	メールを送信	49
第 9 章	参考資料① SECURE Boot を Disabled にする方法	50
第 10 章	参考資料② メーカー別 USB から起動する方法	51
10.1	起動メニューの表示と設定方法	51
10.2	メーカー別起動メニューの起動方法	52

略称

HDD・・・ハードディスク

PC・・・パソコン

NAS・・・LinkStation、TeraStation、LanDisk などのネットワークで繋がる
記憶装置

第1章 NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出しシリーズ

本章ではNAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出しシリーズ (以後、ADVANCED と表記します)の詳細と、販売形態とライセンスの関係について説明します。

1.1 NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出しシリーズとは

NAS-RESCUE ADVANCED は、LinuxOS で起動する NAS 専用のデータ取り出しソフトです。基本的には、以下の 5 種類の ISO イメージで提供されます。(いずれの ISO にも、クローンマイスターが同梱)

- ① LinkStation データ取り出し
- ② TeraStation データ取り出し
- ③ 暗号化 TeraStation 暗号解析並びにデータ取り出し
- ④ LanDisk データ取り出し
- ⑤ LanDisk TA シリーズ専用暗号解析並びにデータ取り出し

NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出しシリーズとは、ADVANCED の「LanDisk データ取り出し」を指します。

LanDisk データ取り出しには、

- ・HDD1 台構成用
- ・HDD2 台構成用
- ・HDD4 台構成用
- ・HDD6 台構成用
- ・暗号化ボリューム用
- ・クローンマイスター

の機能が同梱されています。(使用するには、ライセンスの購入が必要です。)

1.2 シリーズの販売形態とライセンスとの関係

ADVANCED を使用するには、以下の二つの方法があります。

- ① ISO イメージをダウンロード後、USB メモリ等の媒体にインストールし、必要なライセンスを購入。
- ② 「LanDisk データ取り出し 1 台用」「LanDisk データ取り出し 2 台用」などとした商品を購入。その後、必要に応じて、クローンマイスターなどのライセンスを購入。

1.3 ライセンス購入の方法

Amazon や Yahoo ショッピングでの販売している商品名は、
LanDisk データ取り出し HDD1 台用
LanDisk データ取り出し HDD2 台用
LanDisk データ取り出し HDD4 台用
LanDisk データ取り出し HDD6 台用
LanDisk データ取り出し 暗号化ボリューム用

となります。これらの商品には、下図のようなライセンスカードが付属します。



図 1.1 ライセンスカードの例(LanDisk HDD 1 台用)

このライセンスカードのコードを、ADVANCED の「ライセンスコード入力」のボタンをクリックして、ライセンスコードを入力します。



図 1.2 「ライセンスコード入力」、「ライセンス購入」 ボタン

以上の商品を購入した上で、クローンマイスターのライセンスを購入する、もしくは、NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk の ISO をダウンロードして、ご自身の USB メモリ等にインストールした場合には、必要なライセンスを購入する場合は、図 1.2 の「ライセンス購入」ボタンをクリックして、必要なライセンスを PAYPAL 経由で購入します。

(銀行振込で、ライセンスを購入する場合は、メールでお問合せ下さい。振込先をご案内し、入金を確認できたら、ライセンスコードをメールで送信します。)

第2章 ADVANCED のダウンロード、そして起動とユーザー登録

本章では、NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出しシリーズが起動して、データの取出し操作ができるまでの手順を説明します

2.1 ADVANCED のダウンロード

[NAS-RESCUE ADVANCED](#) のページから、ISO イメージをダウンロードします。

2.2 USB メモリへのインストール

2.2.1 USB メモリの用意

ISO イメージなので、DVD にも書き込みできますが、ライセンス情報や、ネットワーク設定の情報は、USB メモリの場合にのみ記憶されるので、USB メモリにインストールする事を推奨します。(USB3.0 で、4GB 以上の USB メモリがお勧めです。)

2.2.2 フリーの ISO 書き込みソフト「Rufus」をダウンロード

フリーの ISO 書き込みソフト「Rufus」をダウンロードします。
参考 URL: 【窓の杜】

<https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/rufus/>

フリーの ISO 書き込みソフト「Rufus」を使用して、USB メモリにダウンロードした ISO イメージを書き込みます。

2.2.3 USB メモリにインストール

- ① USB メモリを PC に接続した上で Rufus を起動

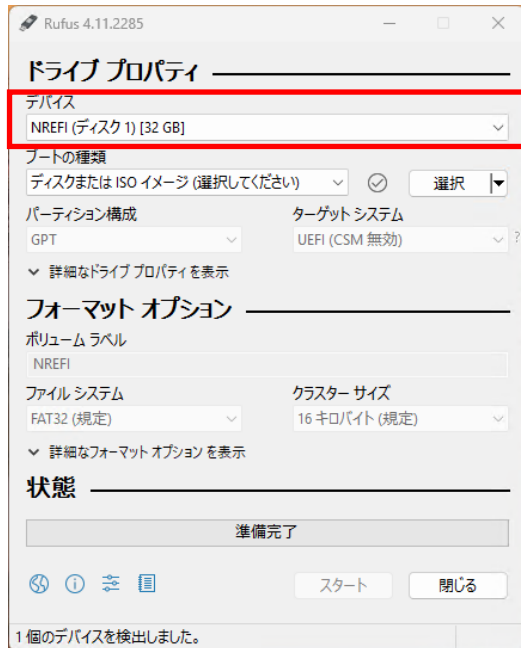


図 2.1. Rufus を起動 (USB メモリが認識されている)

- ② Rufus の「ブートの種類」に、ISO イメージをドラッグ&ドロップ

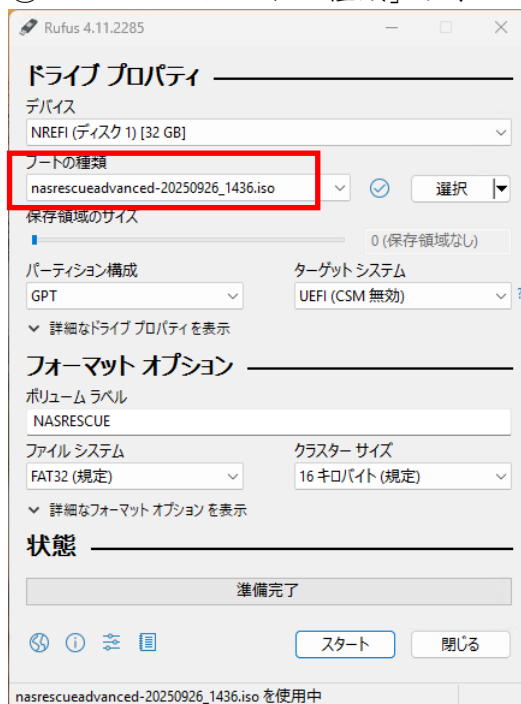


図 2.2 ISO イメージを「ブートの種類」に、ドラッグ&ドロップ

- ③ パーティション構成 → 「MBR」
ターゲットシステム → 「BIOS または UEFI」
として、
Rufus の「スタート」 ボタンをクリック

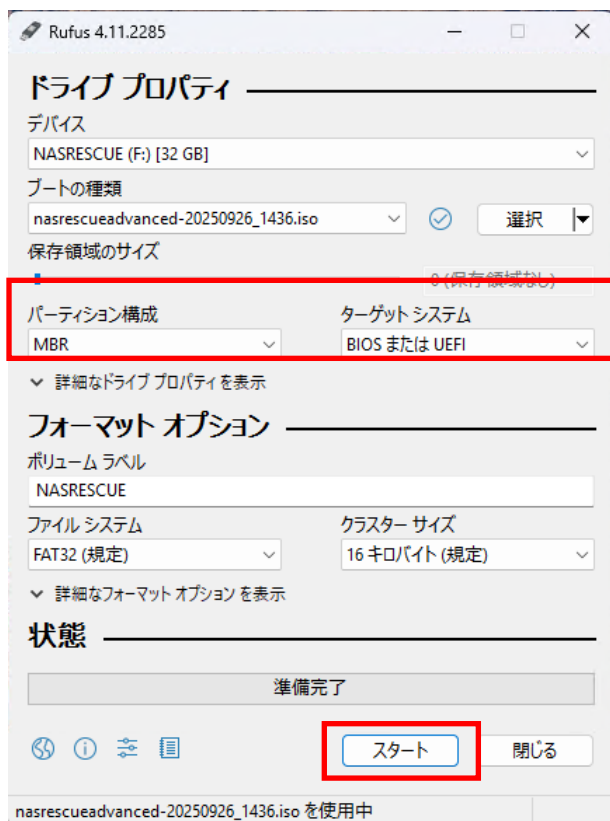


図 2.3. 「スタート」をクリック

- ④ メッセージが表示されるが、すべて「OK」をクリック

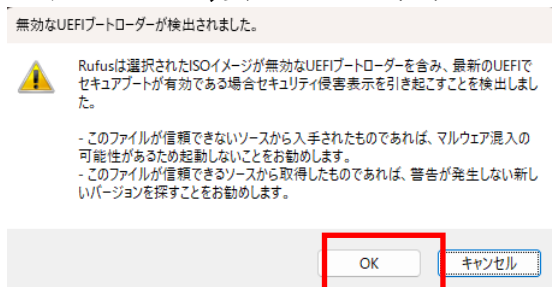


図 2.4. 無効なブートローラーのメッセージ

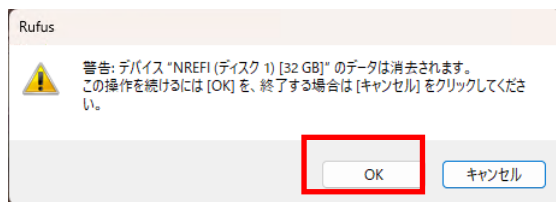


図 2.5. データ消去の確認メッセージ

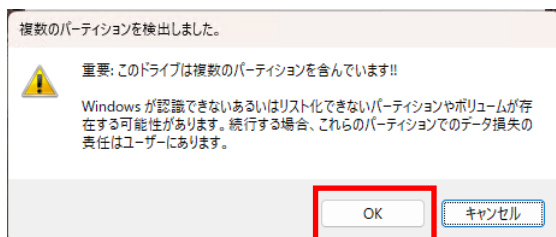


図 2.6.複数パーティションの確認メッセージ

⑤ インストール終了

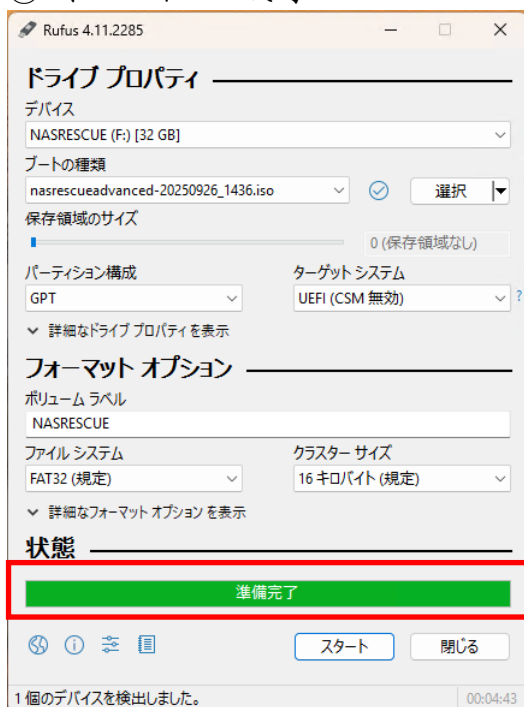


図 2.7. インストール終了

2.3 BIOS の設定

ADVANCED の OS は LINUX (AntiX) です。
ほとんどの WindowsPC では、BIOS の「SECURE BOOT」が有効(Enabled)になっています。
ADVANCED を含む、Linux の OS を、WindowsPC で起動させるには、この BIOS の「SECURE BOOT」を無効 (Disabled) にする必要が有ります。
詳しくは、[参考資料①「Secure Boot を Disabled にする方法」](#)を参照下さい。

2.4 起動の順番を USB (DVD) に変更して、ADVANCED を起動

WindowsPC に、ADVANCED の USB (DVD) をセットして、電源を入れます。
この時、一時的に ADVANCED の USB (DVD) から起動する必要が有ります。
この設定方法は、WindowsPC のメーカーや PC の型番により、異なります。
詳しくは、[参考資料②「メーカー別 USB から起動する方法」](#)を参照下さい。



図 2.8 有線 LAN で接続された状態での起動画面 (Wifi 機能が無い、もしくは AntiX で認識されない場合)

2.5 ADVANCED が起動したら、LAN 接続を確認

ADVANCED は、インターネット接続が必須です。ADVANCED を起動したら、最初に、インターネット接続の設定をお願いします。

ADVANCED を起動すると、PC に Wifi 機能が有って、AntiX で認識されると、LAN 接続のステータス・ウィンドウが表示されます。表示されない場合は、LAN ケーブルで接続を行って下さい。

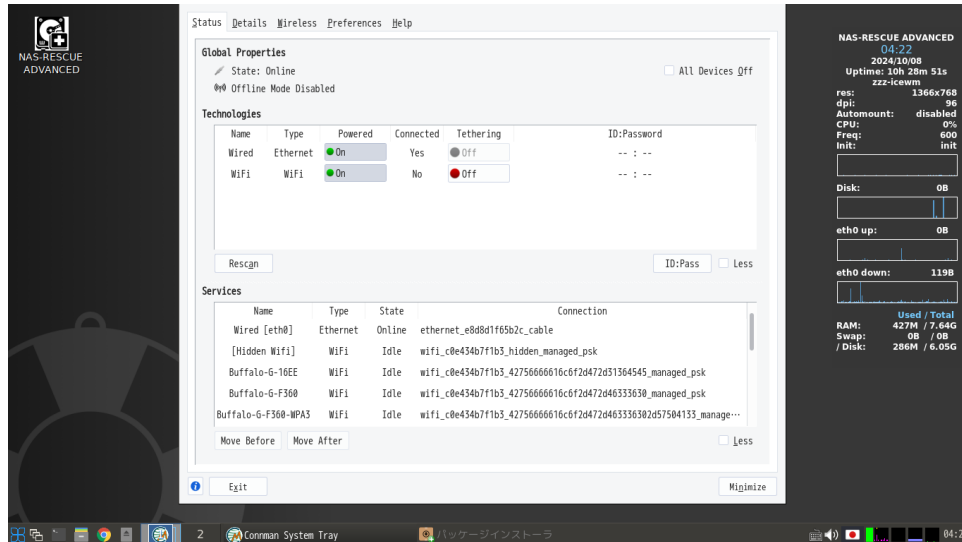


図 2.9 ADVANCED の初期起動画面(Wifi 設定画面有り)

以下に、Wifi 接続の方法を説明します。

LAN 接続のステータス・ウィンドウの「Wireless」をクリックします。

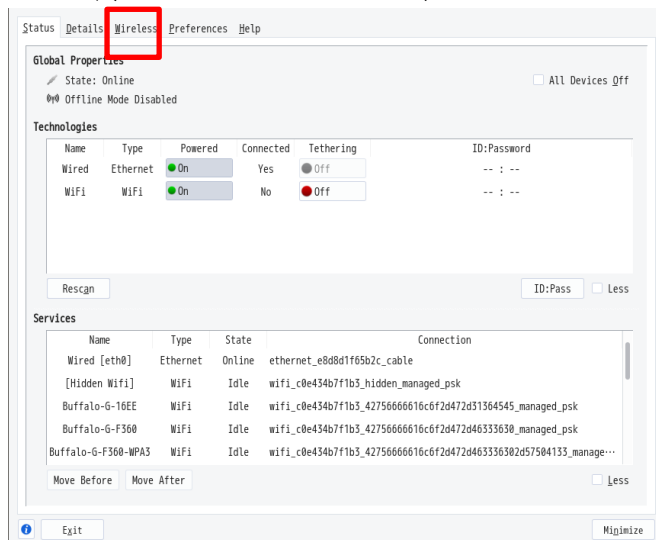


図 2.10 Wifi 接続の設定方法①

ご自宅のルーターをクリックして選択し、「Connect」をクリックします。

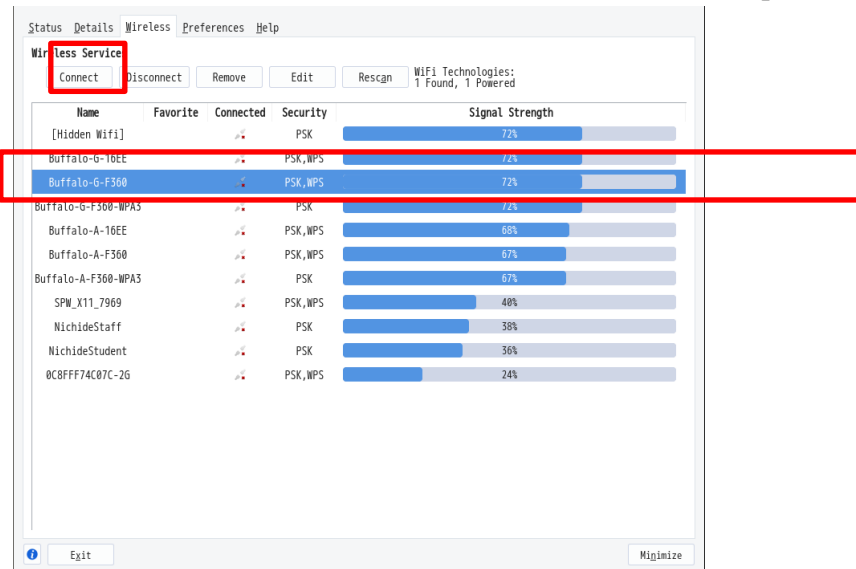


図 2.11 Wifi 接続の設定方法②

「Passphrase」に、ルーターのパスワードを入力して、「OK」をクリックします。

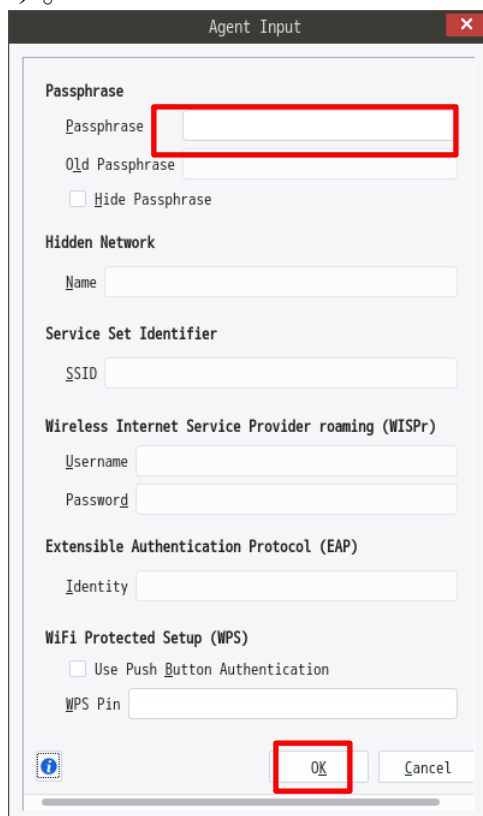


図 2.12 Wifi 接続の設定方法③

接続が成功すると、「Favorite」にアンテナ・アイコンが表示されます。

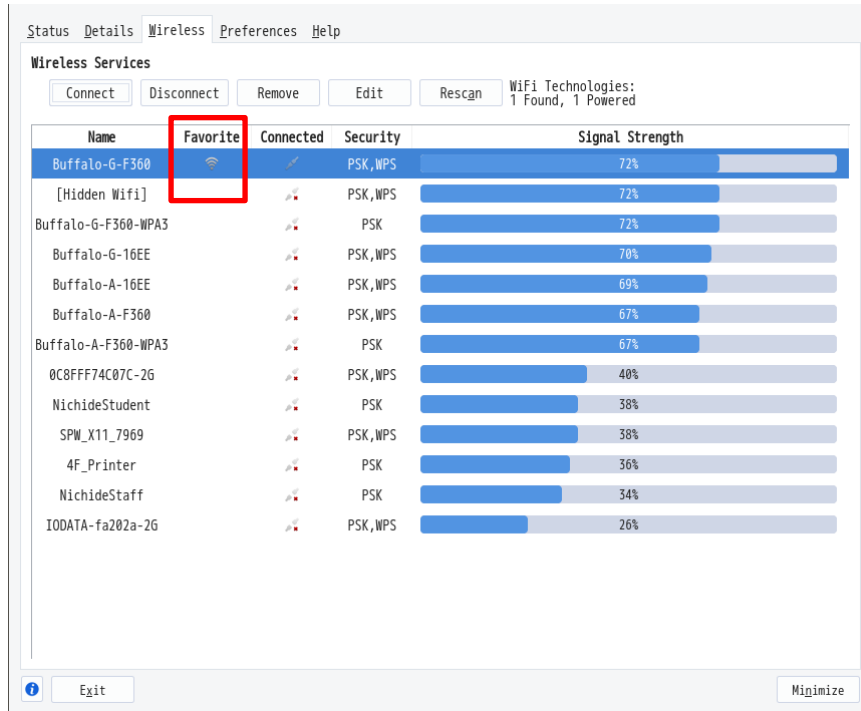


図 2.13 Wifi 接続の設定方法④

LAN 接続ステータス・ウィンドウの、「Wifi」の Connect が、Yes になります。

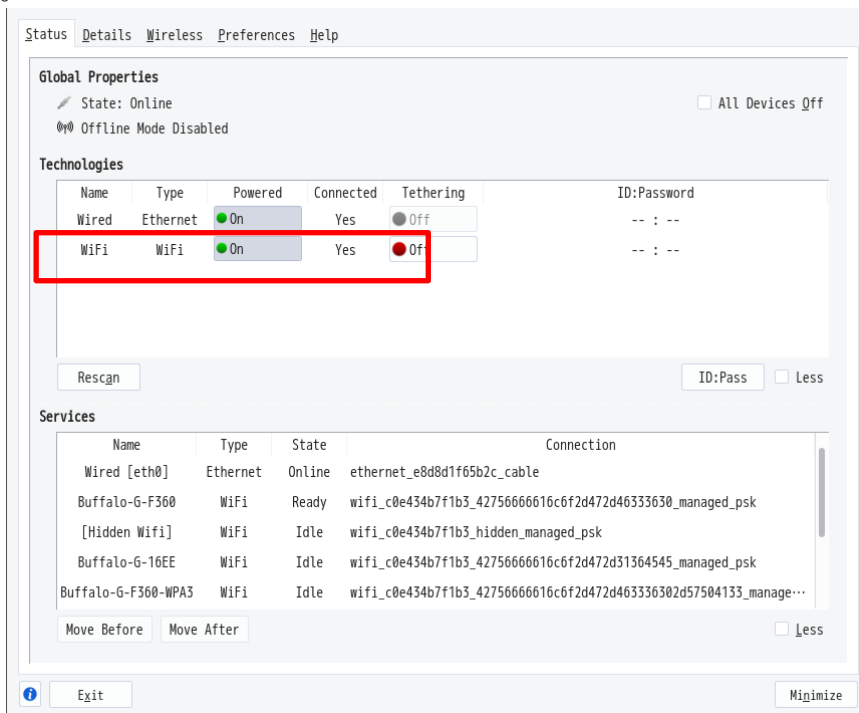


図 2.14 Wifi 接続の設定方法⑤

2.6 システムを起動してユーザー登録

デスクトップ左上の「NAS-RESCUE ADVANCED」アイコンをダブルクリックします。



図 2.15 「NAS-RESCUE ADVANCED」アイコン

パスワードを入力する画面が表示されたら、「nr」（小文字のエヌ・アール）を入力して、「OK」をクリックします。

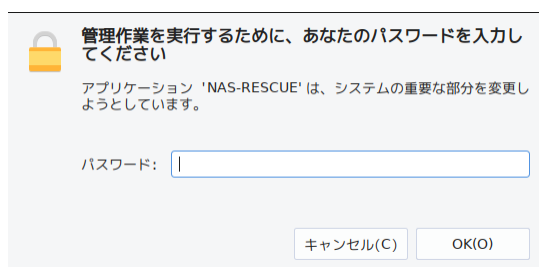


図 2.16 パスワード入力画面

パスワードを入力後、ADVANCED の初期画面が表示されます。

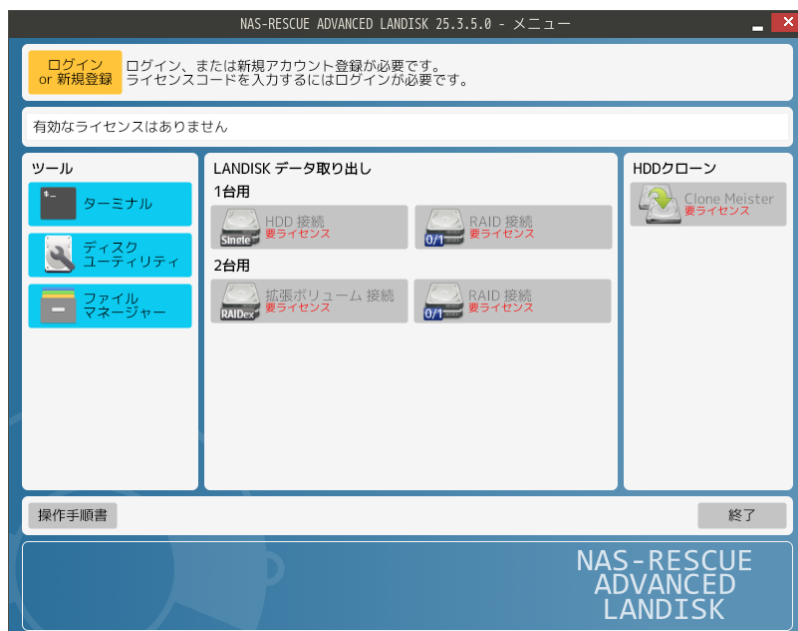


図 2.17 ADVANCED の初期画面

ADVANCED の左上の「ログイン or 新規登録」ボタンをクリックします。

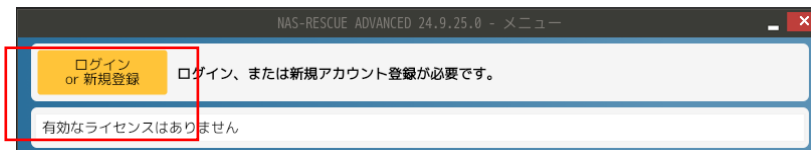


図 2.18 「ログイン」 or 新規登録のボタン

ボタン名が「キャンセル」に変わります。

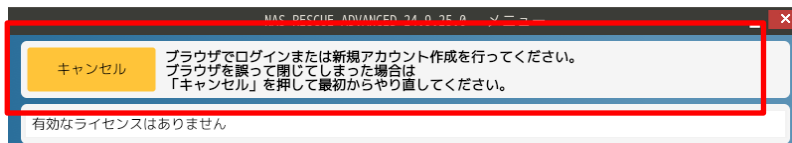


図 2.19 「キャンセル」ボタンに変化

続いて、ブラウザが開きます。「新規アカウント作成」のリンクをクリックします。

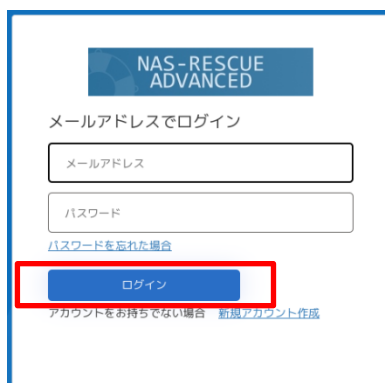


図 2.20 「新規アカウント作成」をクリック

「認証コード送信」画面が表示されるので、ユーザー登録するメールアドレスを入力し、「認証コード送信」ボタンをクリックします。

図 2.21 メールアドレスを入力して「認証コード送信」ボタンをクリック

入力したメールアドレスに、認証コードの書かれたメールが届きます。

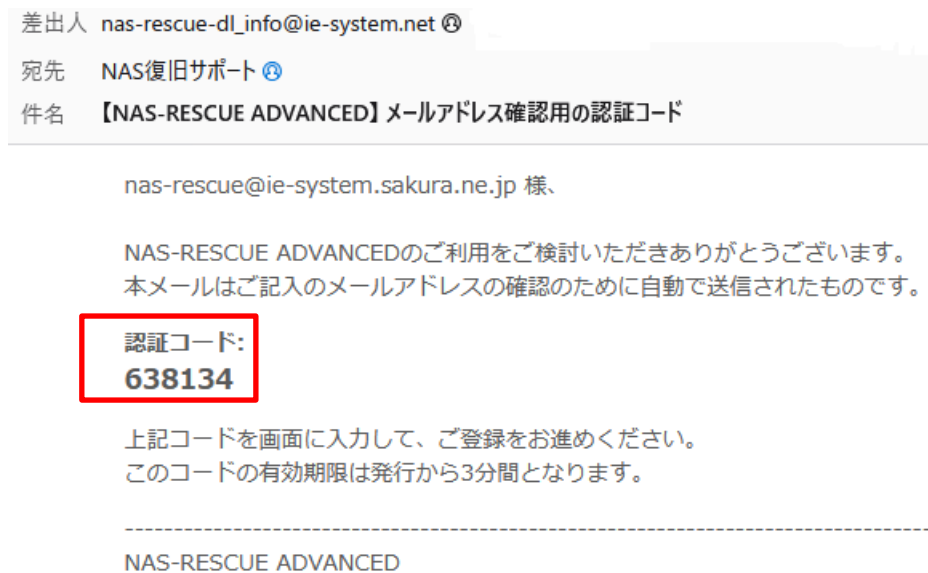


図 2.22 入力したメールアドレスに「認証コード」を受信

メールに表示されている「認証コード」を入力して、「コードの確認」をクリックします。

＜ キャンセル

**NAS-RESCUE
ADVANCED**

認証コードが入力したメールアドレスへ送信されました。下の
入力ボックスに認証コードをコピーしてください。

nas-rescue@ie-system.sakura.ne.jp

638134

コードの確認 新しいコードを送信

図 2.23 「認証コード」を入力して「コードの確認」をクリック

パスワードを2回入力して、「作成」をクリックします。

＜ キャンセル

**NAS-RESCUE
ADVANCED**

メールアドレスが認証されました。続けてパスワードを入力
してください。

nas-rescue@ie-system.sakura.ne.jp

別のメールアドレスでやり直す

作成

図 2.24 パスワードを2回入力して「作成」をクリック

ユーザー登録が終了すると、「ログイン中」と表示されます。

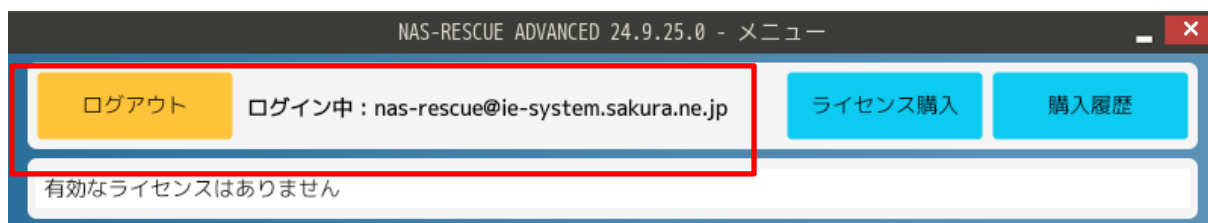


図 2.25 「ログイン中」と表示

ユーザー登録完了メールが送信されます。



図 2.26 「アカウント新規登録完了」メールを受信

第3章 ライセンスの登録、もしくは購入

本章では、NAS-RESCUE ADVANCED LanDisk データ取り出しシリーズで、ライセンスの登録、もしくはライセンスの購入で、データ取り出し操作を開始できるまでの手順を説明します

3.1 ライセンスコードの登録

「ライセンスコード入力」をクリックして、ライセンスコードを入力します。

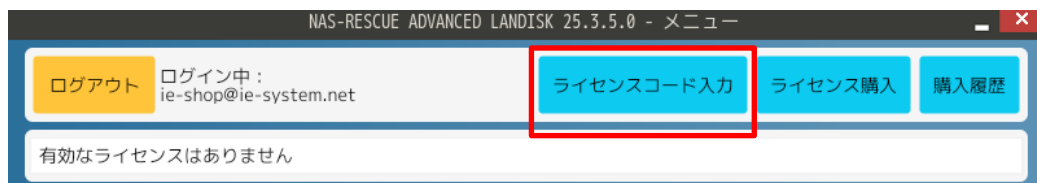


図 3.1 「ライセンスコード入力」ボタンをクリック

同梱のカードに印刷されたライセンスコードをハイフン無しで入力します。



図 3.2 ライセンスコードを入力して「適用」ボタンをクリック

ライセンスコードを入力後、「適用」をクリックすると、適用されます。

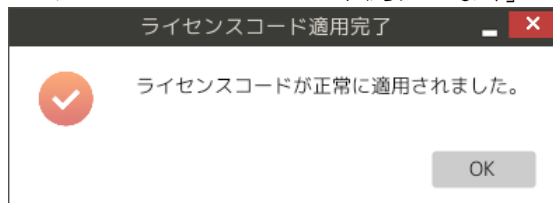


図 3.3 「ライセンスコード適用完了」

認証完了メールが送信されます。



図 3.4 「ライセンスコード適用完了のメールを受信



図 3.5 ライセンスコード適用後のメニュー画面

3.2 ライセンスの購入

ライセンスを購入するには、「ライセンス購入」ボタンをクリックします。

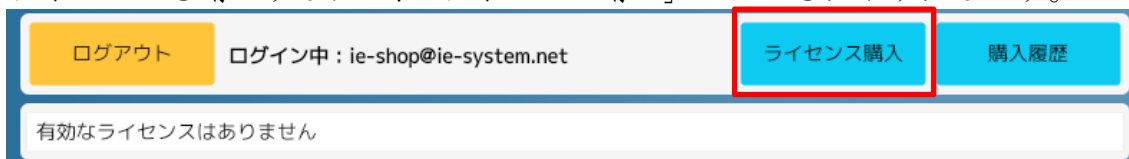


図 3.6 ライセンス購入ボタンをクリック

購入するライセンスにチェックを入れて、「購入手続きへ進む」ボタンをクリックします。PAYPAL 決済の画面に進みます。

※注意 PAYPAL 決済ではなく、銀行振込で購入する場合・・・購入するライセンスを書いて、「銀行振込」希望とメールをお願いします。

Amazon や Yahoo ショッピングで購入する場合・・・商品ページから決済をお願いします。(Amazon や Yahoo ショッピングでは、ライセンスのみの販売をしていないので、メディア代分、価格が上乗せになります。)

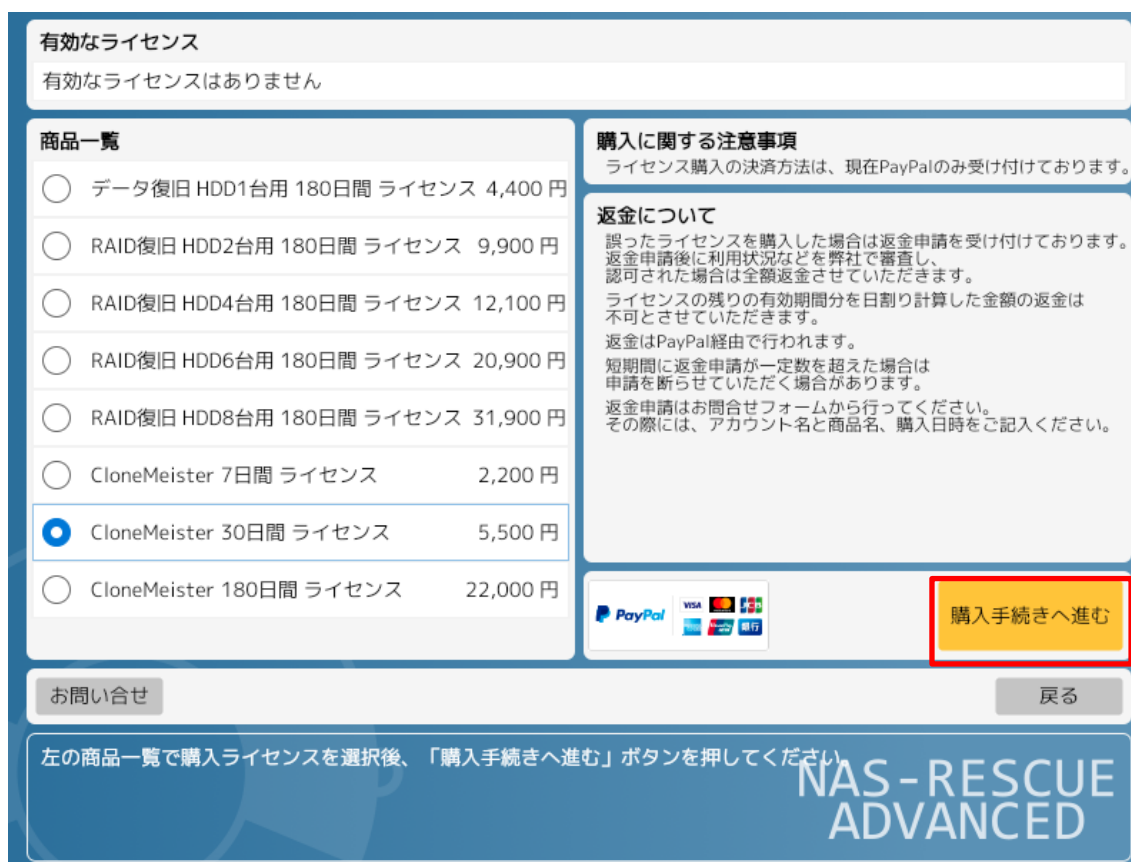


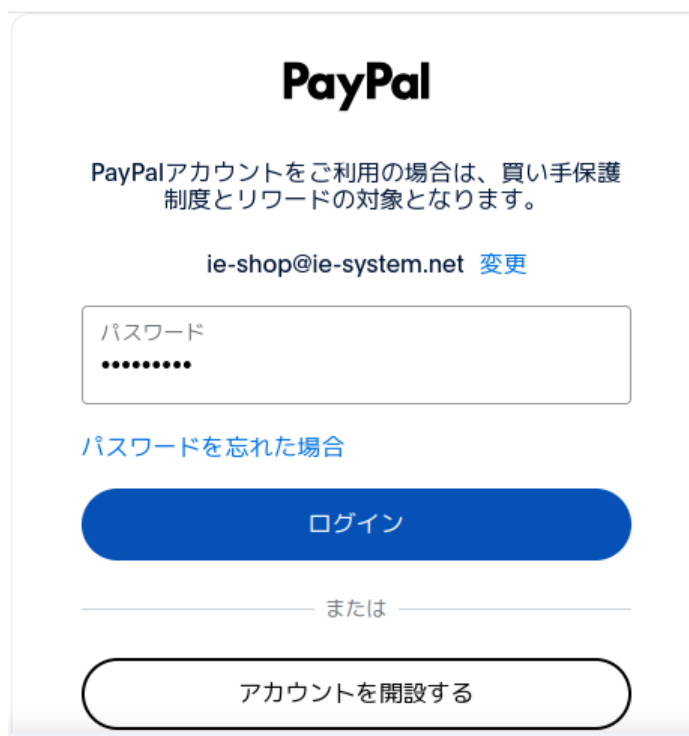
図 3.7 購入するライセンスにセヘックを入れて、「購入手続きへ進む」ボタンをクリック

PAYPAL のアカウントが有る場合は、ログインします。
PAYPAL のアカウントが無い場合は、アカウントを作成してログインします。



The screenshot shows the PayPal login interface. At the top is the PayPal logo. Below it, a message says: "はじめに、お客さまのメールアドレスを入力してください。" (First, please enter your email address). There is a yellow warning box with an exclamation mark icon that says: "セッションがタイムアウトしました。再度ログインしてください。" (Session has timed out. Please log in again). Below this is a text input field containing "ie-shop@ie-system.net". Under the field is a link: "メールアドレスを忘れた場合" (If you forgot your email address). At the bottom is a large blue button labeled "次へ" (Next).

図 3.8 PAYPAL のログイン画面



This screenshot shows the second part of the PayPal login interface. It features the PayPal logo and a message: "PayPalアカウントをご利用の場合は、買い手保護制度とリワードの対象となります。" (If you use a PayPal account, you will be eligible for the Buyer Protection program and rewards). Below this, the email "ie-shop@ie-system.net" is displayed with a "変更" (Change) link. There is a password input field with the label "パスワード" and masked characters ".....". Below the field is a link: "パスワードを忘れた場合" (If you forgot your password). A large blue button labeled "ログイン" (Login) is positioned below the links. At the bottom, there is a link "または" (or) followed by a button labeled "アカウントを開設する" (Create account).

図 3.9 PAYPAL のログイン画面

PAYPAL での手続きが終了すると、下の最終確認画面が表示されます。

「購入確定」ボタンをクリックします。

ここで、「購入をキャンセル」ボタンをクリックすると、購入がキャンセルされます。

購入の最終確認

購入内容

商品名 CloneMeister 7日間 ライセンス

説明 HDDクローン機能

購入金額 2,200 円

購入内容が正しいことを確認して、「購入を確定」を押してください。

購入をキャンセル 購入を確定

図 3.10 購入の最終確認

購入処理が完了しました。のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

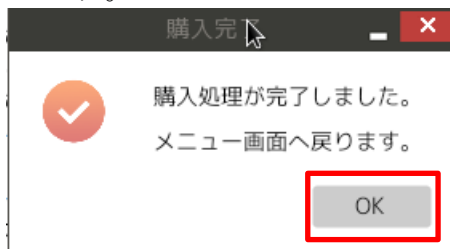


図 3.11 購入処理が完了

ADVANCED のメニュー画面に、ライセンスが表示され、ライセンスに対応するボタンをクリック可能になります。

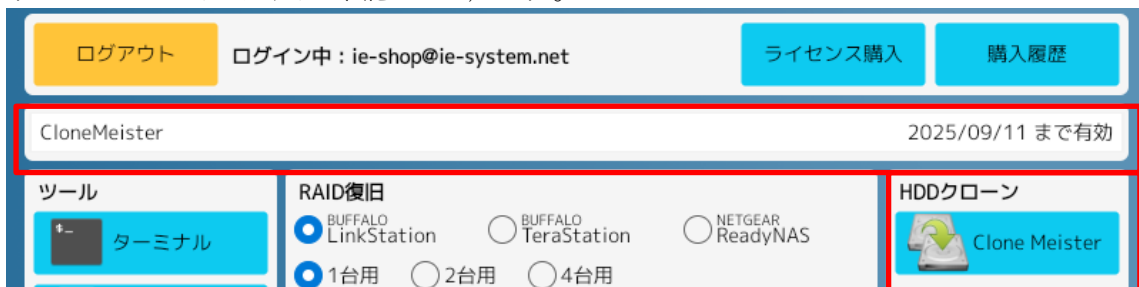


図 3.12 ライセンス購入後のメニュー画面

NAS-RESCUE からの購入完了メールが届きます。

【NAS-RESCUE ADVANCED】ライセンス購入完了
nas-rescue-adv@ie-system.net (nas-rescue-adv@ie-system.net) アドレス帳に追加
宛先: ie-shop@ie-system.net;

ie-shop@ie-system.net 様、

NAS-RESCUE ADVANCED ライセンスのご購入ありがとうございます。
お客様のアカウントへライセンスの有効期間が反映されました。

◇ご購入内容

商品名: CloneMeister 7日間 ライセンス

説明: HDDクローン機能

購入金額: 2,200 円

ご購入内容の詳細につきましては、
アプリケーション内の購入履歴からご確認が可能となっております。

図 3.13 NAS-RESCUE からの購入完了メール

PAYPAL からお支払いのメールが届きます。

インターフェース工学株式会社
への¥2,200 JPYのお支払いが
実行されました

支払いを表示または管理

取引ID

7TF322102M508030Y

取引日

2025/09/04

マーチャント

インターフェース工学株式会社

ie_mail@f6.dion.ne.jp...

+81 0222956411

図 3.14 PAYPAL からの支払実行のメール

第4章 復旧したデータをコピーする方法

データを取り出す方法は、以下の 3 方法があります。

- ① USB 外付け HDD を PC に接続してコピー
- ② 同一ネットワークの NAS 等へコピー
- ③ 同一ネットワーク内の他の PC から接続してコピー

4.1 USB 外付け HDD を PC に接続してコピー

コピーするフォルダ名やファイル名を右クリックして、「コピー」を左クリックします。

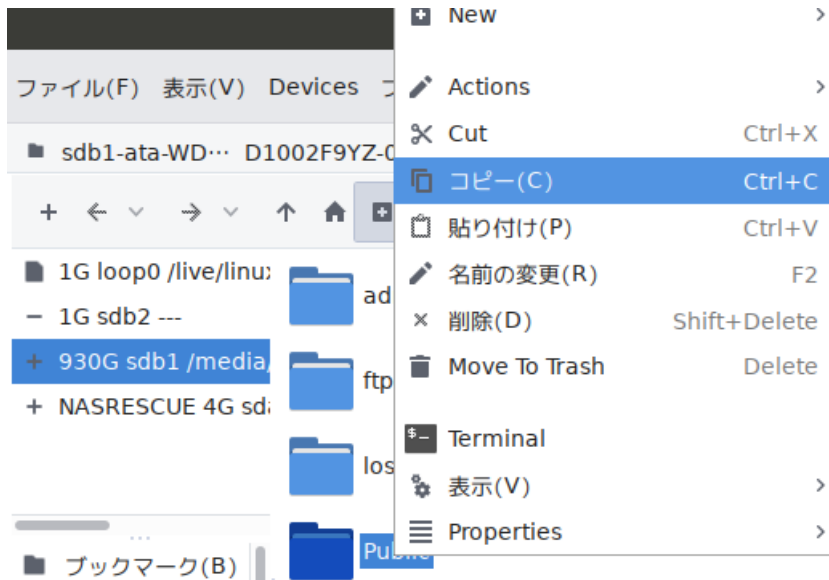


図 4.1 コピーするフォルダを右クリックして、コピーを左クリック

コピー先の USB 外付け HDD 等を左クリックします。

右ウィンドウ内で右クリックして、「貼り付け」を左クリックします。

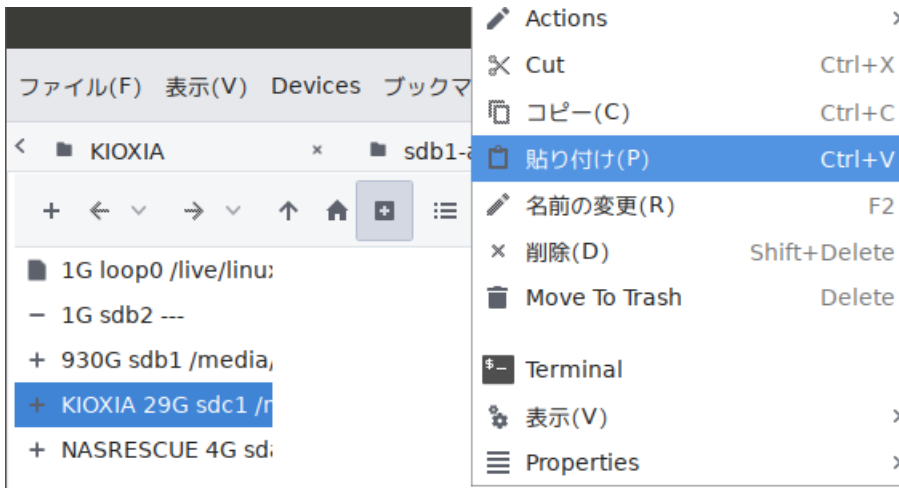


図 4.2 コピー先の USB 外付け HDD を選択し、右クリックして「貼り付け」を左クリック

しばらくすると、コピーが終了します。

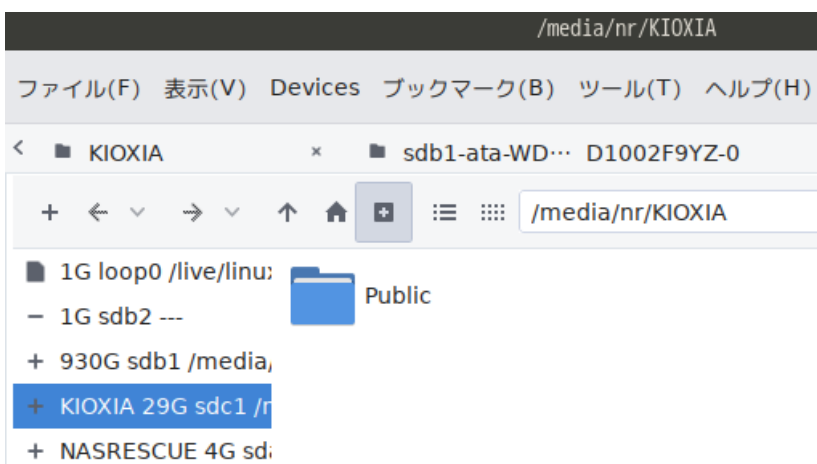


図 4.3 フォルダのコピーが終了

※注意 コピー中に、エラーが発生して、コピーが止まる場合があります。コピーでエラーが発生した場合は、「5.5.データのコピー中にエラーが発生した場合」を参照下さい。

※注意 コピー中に、HDDが、「カチッ、カチッ」と鳴りだした場合は、「5.6.コピー中に「カチッ、カチッ」と音が鳴りだした場合」を参照下さい。

4.2 同一ネットワークの NAS 等にコピー

本節では、ADVANCED が起動している PC から、同一ネットワーク上に有る NAS へデータをコピーする場合のネットワーク設定の方法を説明します。

4.2.1 NAS の設定例

設定項目名	設定値
IP アドレス	192.168.1.25
共有フォルダ名	BACKUP
接続ユーザー名	Admin
パスワード	password

4.2.2 端末画面の起動と、コマンドの入力

ADVANCED のツール内の「ターミナル」アイコンをクリックして、コマンド実行ウィンドウを表示します。

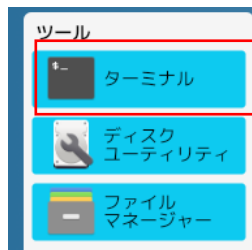


図 4.4. メニュー内の「ターミナル」アイコンをクリック

新しく開いたウィンドウで、以下のコマンドを入力し、ENTER キーを押します。(大文字、小文字、半角スペースもコマンドの一部です)

```
sudo mount -t cifs -o vers=2.0,user=admin,password=password
//192.168.1.25/BACKUP /mnt6
```

```
sudo と mount との間は半角スペース
mount と -t との間は半角スペース
-t と cifs との間は半角スペース
cifs と -o との間は半角スペース
-o と vers=2.0,user=admin,password=password との間は半角スペース
2.0,user 2.0 と user との間は、「,」(コンマ)
admin,password admin と password との間は、「,」(コンマ)
vers=2.0,user=admin,password=password と //192.168.1.25/BACKUP
との間は半角スペース
//192.168.1.25/BACKUP と /mnt6 との間は半角スペース
```

※エラーが表示された場合は、上向き矢印「↑」を押すと、入力したコマンドが表示されるので、修正して、ENTER キーを押します。

4.2.3 ファイルマネージャーを開く

ADVANCED のツール内の「ターミナル」アイコンをクリックして、コマンド実行ウィンドウを表示します。



図 4.5..メニュー内の「ファイルマネージャー」アイコンをクリック

「上向き↑」アイコンを数回クリックすると、「mnt6」のフォルダが表示されます。

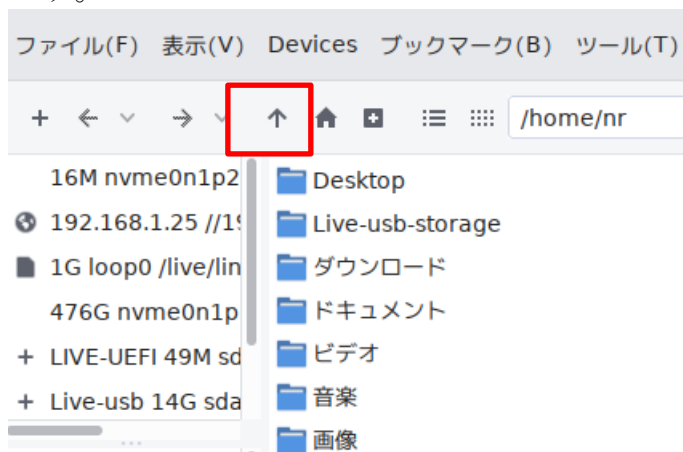


図 4.6. 「mnt6」が表示されるまで、「↑」アイコンをクリック

「mnt6」フォルダをダブルクリックします。



図 4.8. 「mnt6」をダブルクリックした結果（mnt6 のリンク先と実データ）

図 4.7. 「mnt6」をダブルクリック

データ復旧できたフォルダやファイルをコピーして、「mnt6」のフォルダ内で貼り付けをすれば、コピーできます。

※注意 コピー中に、エラーが発生して、コピーが止まる場合があります。コピーでエラーが発生した場合は、「5.5.データのコピー中にエラーが発生した場合」を参照下さい。

※注意 コピー中に、HDDが、「カチッ、カチッ」と鳴りだした場合は、「5.6.コピー中に「カチッ、カチッ」と音が鳴りだした場合」を参照下さい。

4.3 同一ネットワーク内の他の PC から接続してコピー

4.3.1 NAS-RESCUE の PC の IP アドレスを確認

①AdVanced のツール内の「ターミナル」アイコンをクリックして、コマンド実行ウィンドウを表示します。



図 4.17. メニュー内の「ターミナル」アイコンをクリック

②コマンド実行ウィンドウで、以下のコマンドを手入力します。
大文字、小文字、半角スペースは、コマンドの一部です。

Ip addr show と入力して、ENTER キーを押します。

Ip と addr との間は半角スペース
Addr と show との間は半角スペース

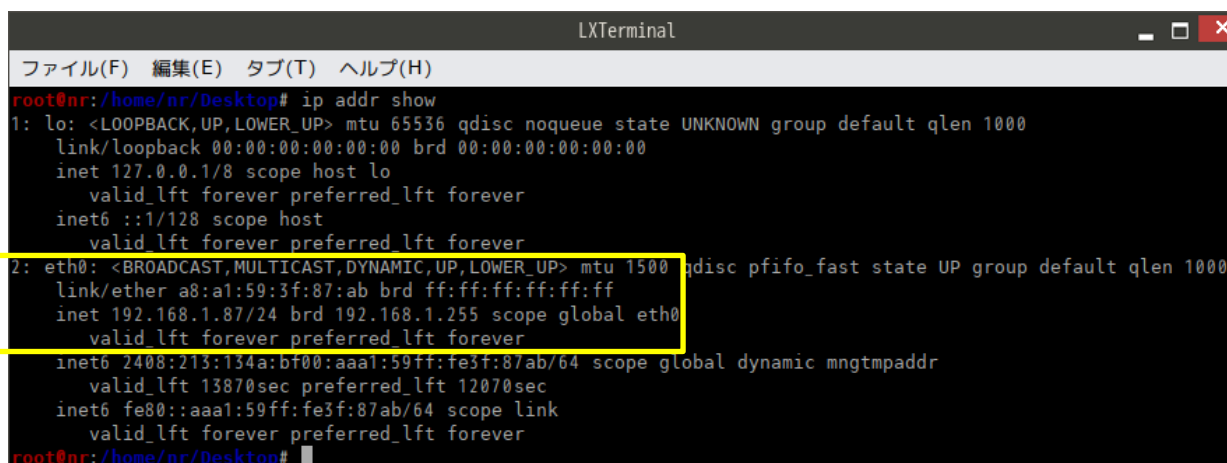


図 4.18. ターミナル内で、IP アドレス等を確認

2:eth0 が、パソコンの LAN カードになります。

Inet 192.168.1.87/24

と表示されているので、この例では、IP アドレスは「192.168.1.87」となります。

4.3.2 IP アドレスを指定して、NAS-RECUE が起動している PC に接続

Windows パソコンのエクスプローラのアドレス入力エリアに、上記の例では「~~¥¥~~192.168.1.87」と入力して、ENTER キーを押します。（「~~¥¥~~nr」と入力しても OK です。但し、少し時間が掛かります。）

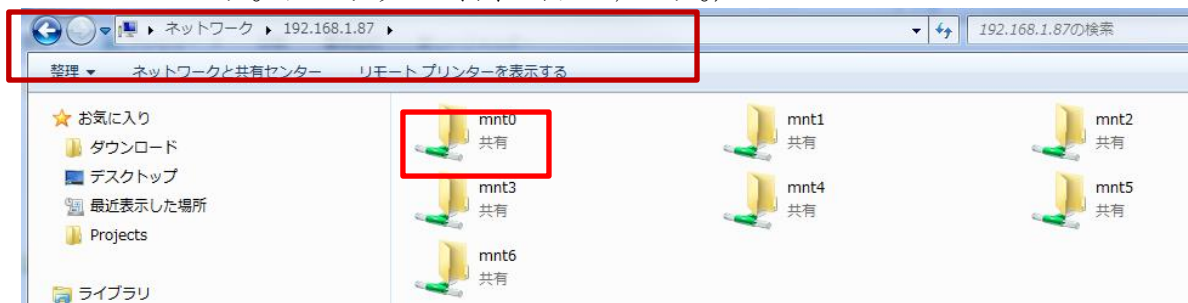


図 4.19.ネットワークから、NAS-RESCUE の PC へ接続

「mnt0」をダブルクリックします。

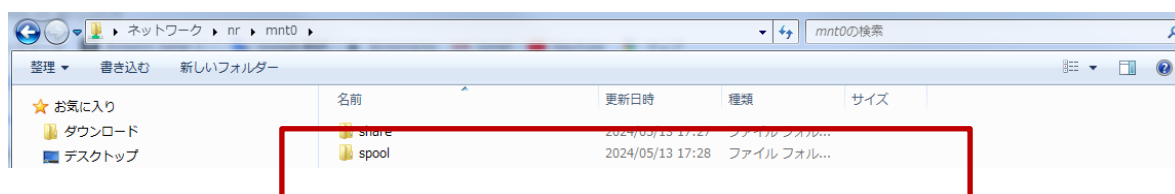


図 4.20.共有フォルダ(mnt0、mnt6 をダブルクリック

※注意 コピー中に、エラーが発生して、コピーが止まる場合があります。コピーでエラーが発生した場合は、「5.5.データのコピー中にエラーが発生した場合」を参照下さい。

※注意 コピー中に、HDDが、「カチッ、カチッ」と鳴りだした場合は、「5.6.コピー中に「カチッ、カチッ」と音が鳴りだした場合」を参照下さい。

第5章 こんな時は？

本章では、様々な現象について、その対処方法を説明します。

5.1 LanDisk のHDD を接続したが、認識しない

チェック 1 USB \longleftrightarrow SATA 変換ケーブルには電源ケーブルが付いている？
3.5 インチのHDDは、駆動用に別電源が必要です。従って、USB \longleftrightarrow SATA 変換ケーブルは、100V 電源のある物、もしくはHDDスタンドが必要です。



図 5.1 USB \longleftrightarrow SATA 変換ケーブルと HDD スタンド

→電源ケーブルが付いている場合 → チェック 2 へ
→電源ケーブルが付いている場合 → 上写真のような、USB \longleftrightarrow SATA 変換ケーブルを用意して下さい。

チェック 2 HDDを抜いて、再度接続します。HDDは認識した？

→認識した場合 → 問題解決
→認識しない場合 → HDDは物理障害です。弊社へ相談下さい。

5.2 必要なデータファイルが見えなかった場合

チェック1 「第7章 HDD のクローンを作成する方法」を参照し、クローンを作成し、再度、試してみます。

- 必要なデータが表示された場合 → 問題解決
- 必要なデータが表示されない場合 → 弊社へ相談（コマンド実行で解決する場合有り）

5.3 データのコピー中にエラーが発生した場合

チェック1 「第7章 HDD のクローンを作成する方法」を参照し、クローンを作成し、再度、試してみます。

- データのコピー中にエラーが発生しなかった場合 → 問題解決
- データのコピー中にエラーが発生した場合 → チェック2

チェック2 エラーの発生したファイルは必要か？

- 必要なデータの場合 → 弊社へ相談
- それほど必要ではない場合 → 次のデータをコピー

5.4 コピー中に「カチッ、カチッ」と音が鳴りだした場合

HDDが物理障害が発生しました。

チェック1 音が鳴るHDDは、コピー元？、それともコピー先？

- 音が鳴るHDDがコピー元の場合 → 直ぐにコピーを終了させ、チェック2
- 音が鳴るHDDがコピー先の場合 → 直ぐにコピーを終了させ、コピー先のメディアを交換します。

チェック2 必要なデータは取出せたか？

- 必要なデータの取出しはできていた場合 → 問題解決
- 必要なデータの取出しはできていない場合 → 弊社へ相談

第6章 ディスクユーティリティでHDDの状態を確認

本章では、ディスクユーティリティの使い方を説明し、HDDの状態の確認とその対処方法を説明します。

6.1 ディスクユーティリティを起動

ディスクユーティリティは、NAS-RESCUE ADVANCED のメニュー画面の左側の「ディスクユーティリティ」アイコンをクリックすることで起動します。



図 6.1.ディスクユーティリティを起動

ディスクユーティリティが起動しました。

左ウィンドウに、PC が認識している HDD の一覧が表示されます。



図 6.2.ディスクユーティリティの起動時の画面

左ウィンドウの HDD をクリックすると、右ウィンドウに、HDD の状態と、パーティション図が表示されます。

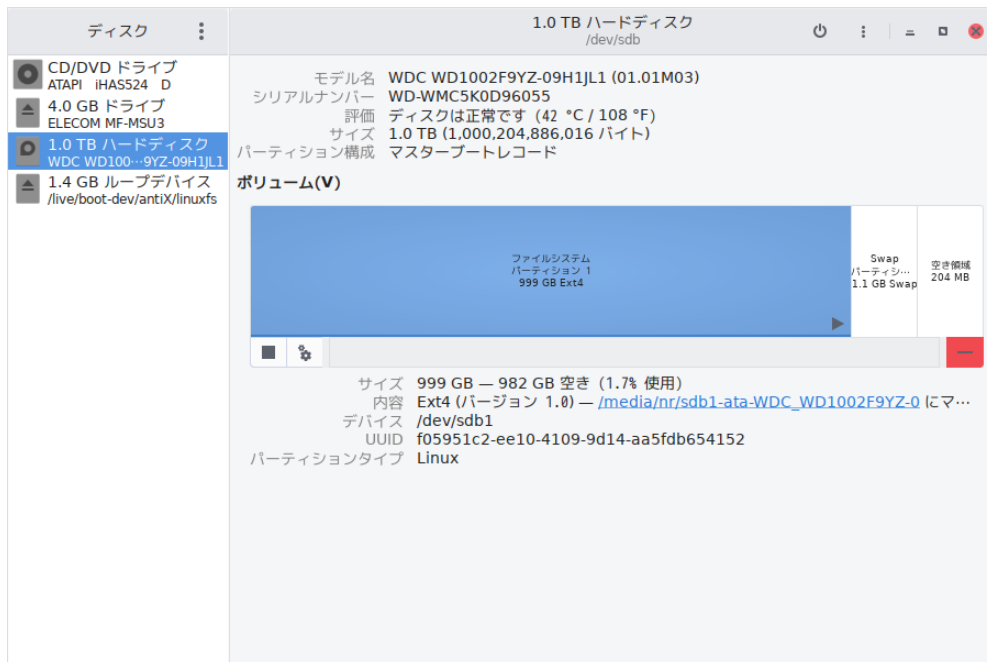


図 6.3.HDD 等の詳細とパーティション図

6.2 HDD の詳細とパーティション図の見方



図 6.4.HDD の詳細と、パーティション図の見方

ディスクユーティリティの右ウィンドウのパーティション図は、大きく 3 個の部分に分かれています。

No	表示内容	枠色	チェックポイント
1	HDD の詳細	赤色	「評価」にエラー表示が有るか？ 「サイズ」に正しい HDD の容量が表示されているか？
2	パーティション図	黄色	「データ・パーティション」に、EXT4 とか XFS とかのファイルシステム名が表示されているか？
3	パーティション図で選択されたパーティションの詳細	青色	「内容」、EXT4 とか XFS とかのファイルシステム名が表示されているか？

表 6.1.パーティション図のチェックポイント

6.3 パーティション図の表示内容と対処方法

本節では、トラブルが発生している HDD のディスクユーティリティでの見え方を紹介し、併せて、その対処方法を説明します。お客様から送付頂いた写真を掲載している事を容赦願います。

ディスクユーティリティのバージョンが異なる事が有り、表示内容に多少の差異があります。

6.3.1 「サイズ」が表示されず、「メディアなし」と表示

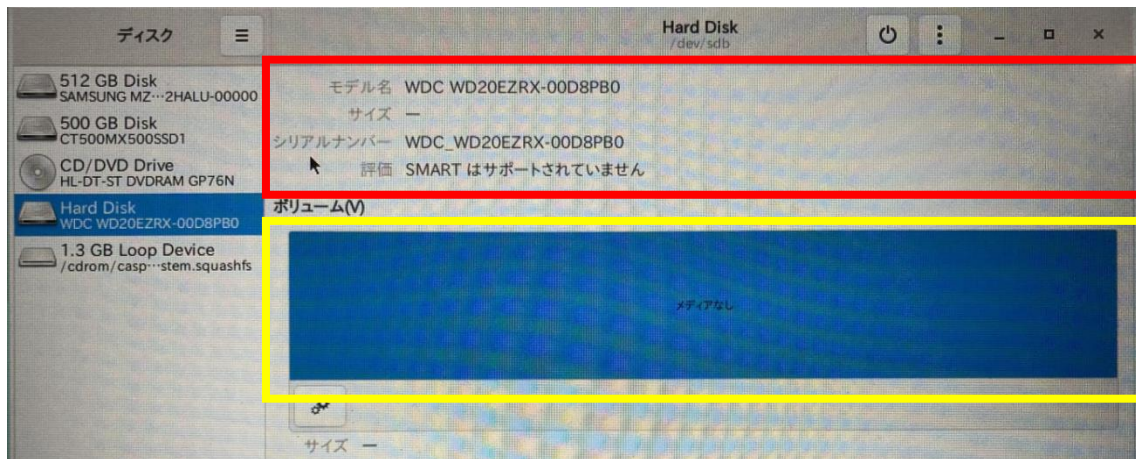


図 6.5. 「サイズ」が表示されず、「メディアなし」と表示

考えられる原因	ハードディスクのシステムエリア（ハードディスクの個別の情報等を記憶してある場所）を読み込みできない状態と考えられます。重度の物理障害。
対処方法	個人レベルでのデータ復旧は無理なので、弊社へお問合せ下さい。

6.3.2 2TB のハードディスクの容量が 4.1GB と表示される

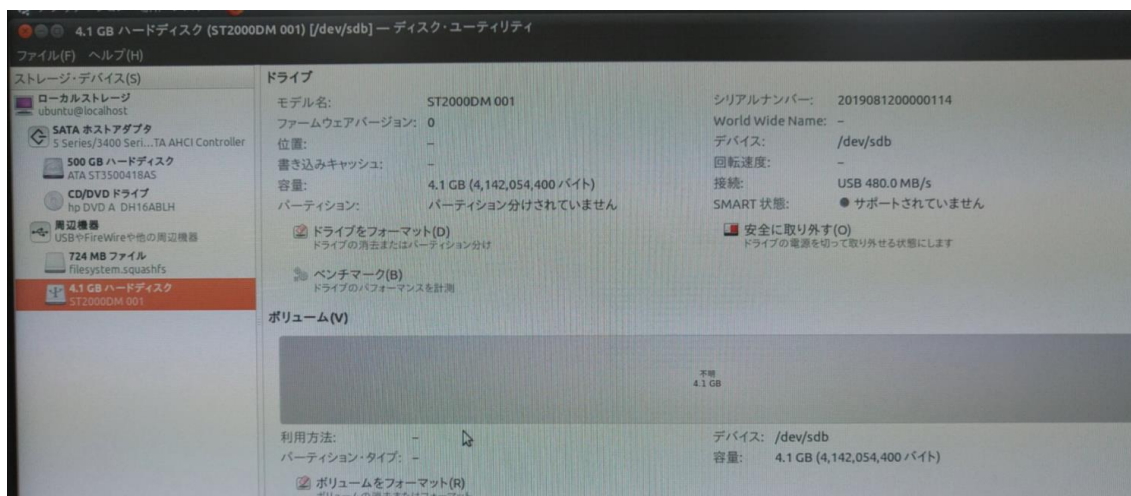


図 6.6.2TB のハードディスクの容量が 4.1GB と表示される

考えられる原因	ハードディスクのシステムエリア（ハードディスクの個別の情報等を記憶してある場所）を読み込みできない状態と考えられます。重度の物理障害。
対処方法	個人レベルでのデータ復旧は無理なので、弊社へお問合せ下さい。

6.3.3 パーティションが1個も無い



図 6.7.パーティションが1個も無い

考えられる原因	ハードディスクの先頭に記憶しているパーティションテーブルが読み取れていないことによります。物理障害。
対処方法	まずは、物理障害を疑い、「 参考資料⑦ ハードディスクのクローンを作成する方法 」を参照して、ハードディスクのクローンを作成します。 それでも問題が解消しない場合は、弊社へお問合せ下さい。

6.3.4 データ・パーティションに、「未知」とか「Unknown」と表示される



図 6.8.データ・パーティションに、「未知」とか「Unknown」と表示される

考えられる原因	パーティションの先頭に書き込まれているファイルシステム情報を読み取れない、もしくは、ファイルインデックスを正常に読み取れないなど、ファイルシステムを正常に構成出来ない場合と考えられます。物理障害、もしくは論理障害が考えられます。
対処方法	まずは、物理障害を疑い、「 参考資料⑦ ハードディスクのクローンを作成する方法 」を参照して、ハードディスクのクローンを作成します。 それでも問題が解消しない場合は、弊社へお問合せ下さい。

第7章 HDD のクローンを作成する方法

本章では、データ復旧を行う上で、クローンを作成する必要性を示し、クローンの作成方法を説明します。

7.1 Read エラーが発生している HDD の状態

CloneMeister でクローンを作成した結果の例を図 19 に示します。

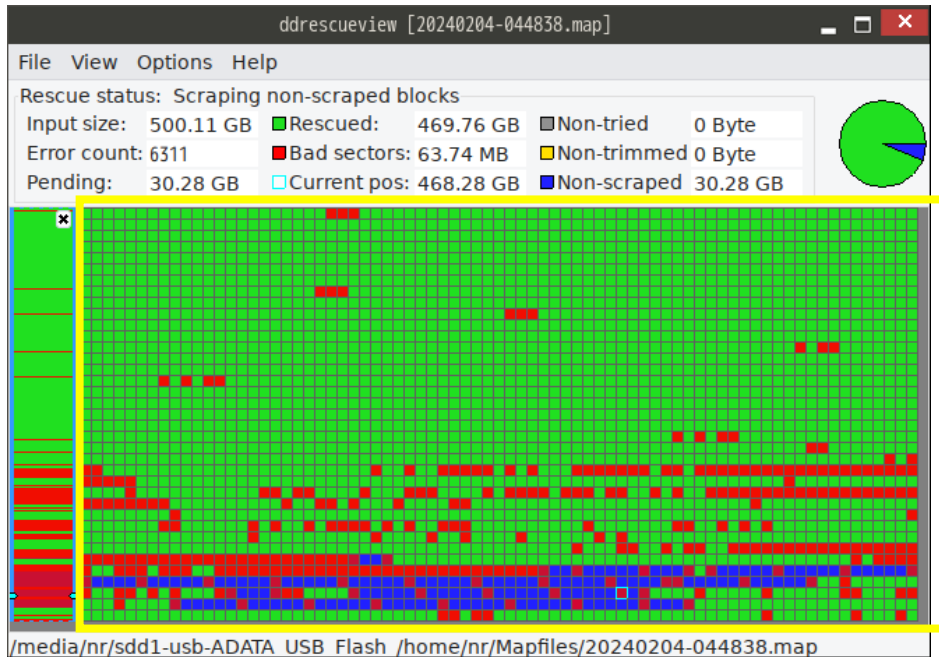


図 7.1. CloneMeister でクローンを作成した結果の例

黄色枠で囲んだ部分が、500GHDD 全体のコピー結果を示しています。

緑色の部分は、正常にコピーできた所

赤色の部分は、Read エラーが発生した場所

青色の部分は、正常な部分とエラーの部分とを分離している場所

となります。

この図から、判る通り、HDD の故障の状態というのは、千差万別ですが、全体が Read エラーになった場合は、「5.3.1. 「サイズ」が表示されず、「メディアなし」と表示」、「5.3.2. 2TB のハードディスクの容量が 4.1GB と表示される」の時です。

一方、図 19 のように、所々で、Read エラーが発生している故障が発生している場合が圧倒的に多いです。(弊社の経験上)

7.2 Read エラーが発生している箇所と表示データの関係

7.2.1 HDD の先頭で Read エラーが発生している場合

HDD の先頭には、パーティションテーブルが保存されています。この場所で Read エラーが発生すると、HDD のパーティションが不明となる為、

「5.3.3. パーティションが1個も無い」

ということになります。

7.2.2 パーティションの先頭で Read エラーが発生している場合

個々のパーティションの先頭には、ファイルシステム情報が保存されています。この場所で Read エラーが発生すると、パーティションのファイルシステムが不明となる為、

「5.3.4. データ・パーティションに、「未知」とか「Unknown」と表示される」ということになります。

7.2.3 データ・パーティション内で Read エラーが発生した場合

データ・パーティション内には、文字通りデータが保存されているのですが、保存形式が実データ、ファイルインデックス（いわゆる、ファイルの目次）が、それぞれのファイルシステムの形式に従って、羅列されています。

Read エラーが、ファイルインデックスの箇所で発生した場合は、
「5.3. ファイルマネージャーのウィンドウが表示されたが、何も表示されない場合」

「5.4.必要なデータファイルが見えなかった場合」

ということになります。

Read エラーが、実データ部分で発生した場合、

「5.5.データのコピー中にエラーが発生した場合」

ということになります。

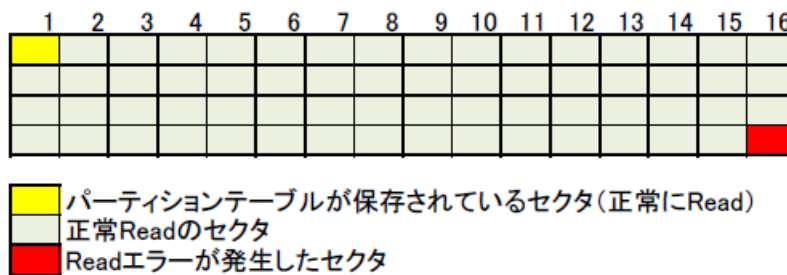
7.3 パソコンがHDDからデータを読む方法

7.3.1 パソコンがHDDからデータをReadする方法

L i n u x、Windows など、O Sに関係なく、パソコンやLanDisk がHDDからデータをR e a dする場合は、HDDの最少単位であるセクタ（※）毎にR e a dするのではなく、64セクタとか、128セクタとかの複数セクタの単位で読み込みます。

複数セクタでR e a dする理由は、パソコンの動作速度を左右する要因は、CPUの性能によるのですが、そのCPUの性能に制限をかけるのは、HDDのR e a d速度となります。それ故、HDDをR e a dする場合は複数セクタをまとめてR e a dすることで、その制限を最小にするように設計されています。

従って、この複数のセクタの内、1セクタで読み込みエラーが発生すると、まとめて読み込んだ全てのセクタがエラーと判定され、最悪の場合、処理が止まってしまいます。



1回のReadで、64セクタをReadするとします。
 64番目のセクタ、1個だけがReadエラーでも、
 64セクタ全部がReadエラーと判定されてしまう。

図 7.2.パソコンでのデータの Read の仕方

※セクタ：HDDの記憶領域の最少単位で、1セクタは、512 バイトもしくは 4096 バイト等で構成されています。

7.3.2 CloneMeisterのコピーの仕方

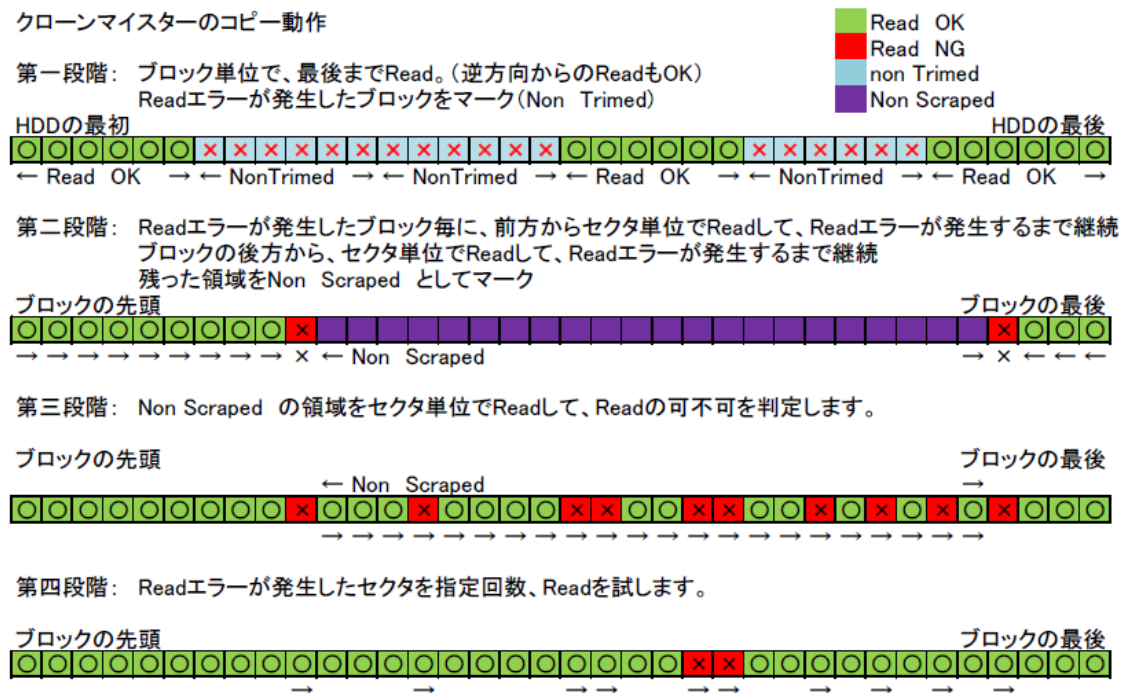


図 7.3.CloneMeisterのコピーの仕方

第一段階 大きいブロック（複数のセクタ）でReadを試します。Readエラーが発生したブロックをエラーとマークします。こうして、HDDの最初から最後まで、Readします。

第二段階 Readエラーが発生したブロックに対して、ブロックの最初からReadエラーが発生するまでReadし、次にブロックの最後から逆向きにReadして、Readエラーが発生するまでReadします。これをReadエラーが発生した全ブロックに対して行います。

第三段階 各ブロック内でReadエラーに挟まれた領域内で、セクタ毎にReadエラーの有無を判定します。

第四段階 Readエラーが発生したセクタを指定回数、Readを試します。

最終的に Read エラーが発生したセクタに対する、コピー先のセクタには、CloneMeisterからは、何も書き込みをおこないません。

7.3.3 CloneMeister を使ってクローンを作成した結果

図 20 のような HDD のクローンを作成すると、図 22 のように、Read エラーを解消することができます。



図 7.4.クローンを作成することで Read エラーを解消

図 22 のように、Read 出来なかったブロックが、CloneMeister を使ってクローンを作成すると、Read できるようになります。

Read エラーが発生しているセクタに保存されていたデータの種類によって、以下の様な現象が、クローン発生後に現れます。

No	Read エラーが発生したセクタに保存されたデータ	クローン作成後の現象
1	ファイルのデータ	ファイルの欠損
2	ファイルインデックス	フォルダの欠損
3	パーティションテーブル	パーティションが見えない
4	ファイルシステム情報	パーティションのファイルシステムが未知
5	RAID 構成情報	RAID 崩壊

表 7.1.セクタに保存されたデータ別クローン作成後の現象

例えば、「3 パーティションテーブル」のセクタで Read エラーが発生していた場合は、フリーソフトの「TestDisk」を使う事で、復旧できる場合が有ります。いずれにしても、表 6 のような現象からデータを復旧するには、その現象に合った復旧ソフトを適用する事で復旧する可能性が有ります。但し、Read エラーの箇所が多いと復旧できる可能性は低下します。

第8章 お問い合わせの仕方

本章では、弊社へお問合せをする方法を説明します。

8.1 弊社で必要な情報

弊社で状況を正しく理解できるように、以下の項目を送信下さい。

- ① ディスクユーティリティ画面のハードコピー(HDD が認識されている場合)
- ② ターミナル画面のハードコピー(弊社からの指示でコマンドを実行した場合)
- ③ 質問の内容

8.2 操作手順

8.2.1 「お問い合わせ」ウィンドウを表示

コピーを終了した状態で、NAS-RESCUE ADVANCED の画面の「お問い合わせ」ボタンをクリックします。

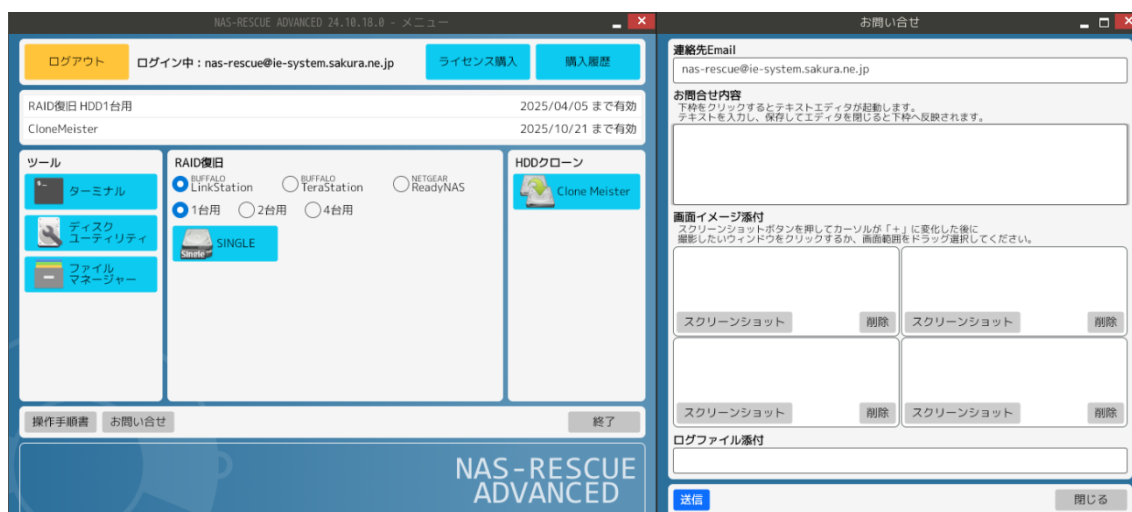


図 23. 「お問い合わせ」ボタンをクリックして、お問合せウィンドウを表示

8.2.2 ディスクユーティリティ画面のハードコピーを添付

LanDisk の HDD が PC で認識されている場合は、「**第六章 ディスクユーティリティでHDDの状態を確認**」を参照して、LanDisk の HDD のパーティション図が表示された状態にします。

お問合せウィンドウの「スクリーンショット」をクリックします。

お問合せウィンドウが一旦、消えます。ディスクユーティリティの画面をクリックします。

すると、お問合せウィンドウのクリックした「スクリーンショット」に、ディスクユーティリティの画面が小さく表示されます。

これで、ログの画面のハードコピーの貼付が終了しました。

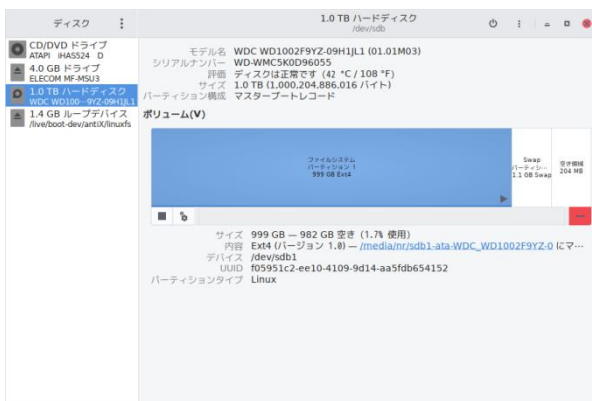


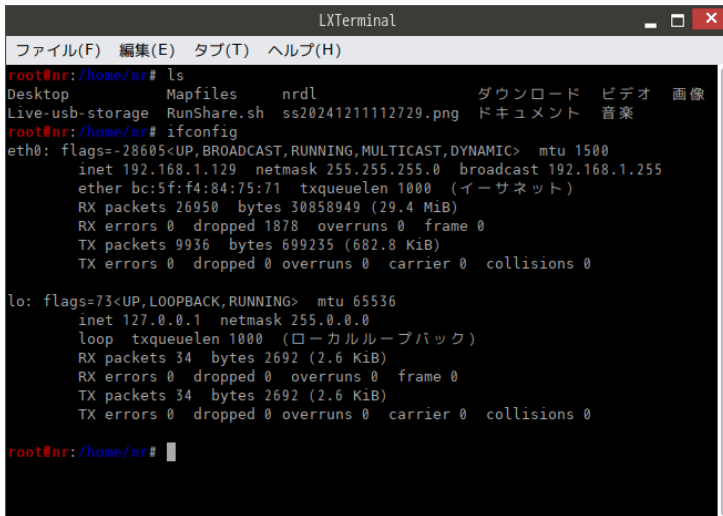
図 24.ディスクユーティリティのパーティション図



図 25.ディスクユーティリティ画面のハードコピーを添付

8.2.3 ターミナル画面のハードコピーを添付

弊社からの指示で、ターミナル画面を開いてコマンドを実行した場合、お問合せウィンドウの「スクリーンショット」をクリックします。お問合せウィンドウが一旦、消えます。ターミナル画面をクリックします。すると、お問合せウィンドウのクリックした「スクリーンショット」に、ターミナル画面が小さく表示されます。これで、ターミナル画面のハードコピーの貼付が終了しました。



```

LXTerminal
ファイル(F) 編集(E) タブ(T) ヘルプ(H)
root@nr:/home/nr# ls
Desktop      Mapfiles     nrdl          ダウンロード  ビデオ  画像
Live-usb-storage  RunShare.sh ss20241211112729.png ドキュメント  音楽
root@nr:/home/nr# ifconfig
eth0: flags=28605<UP,BROADCAST,RUNNING,MULTICAST,DYNAMIC>  mtu 1500
    inet 192.168.1.129  netmask 255.255.255.0  broadcast 192.168.1.255
    ether bc:5f:f4:84:75:71  txqueuelen 1000  (イーサネット)
    RX packets 26950  bytes 30858949 (29.4 MiB)
    RX errors 0  dropped 1878  overruns 0  frame 0
    TX packets 9936  bytes 699235 (682.8 KiB)
    TX errors 0  dropped 0  overruns 0  carrier 0  collisions 0

lo: flags=73<UP,LOOPBACK,RUNNING>  mtu 65536
    inet 127.0.0.1  netmask 255.0.0.0
    loop txqueuelen 1000  (ローカルループバック)
    RX packets 34  bytes 2692 (2.6 KiB)
    RX errors 0  dropped 0  overruns 0  frame 0
    TX packets 34  bytes 2692 (2.6 KiB)
    TX errors 0  dropped 0  overruns 0  carrier 0  collisions 0

root@nr:/home/nr#
    
```

図 26.ターミナル画面を表示



お問い合わせ

連絡先Email
nas-rescue@ie-system.sakura.ne.jp

お問合せ内容
下枠をクリックするとテキストエディタが起動します。
テキストを入力し、保存してエディタを閉じると下枠へ反映されます。

画面イメージ添付
スクリーンショットボタンを押してカーソルが「+」に変化した後に
撮影したいウィンドウをクリックするか、画面範囲をドラッグ選択してください。

	
スクリーンショット	削除
スクリーンショット	削除

ログファイル添付

送信 閉じる

図 27.ターミナル画面のハードコピーを添付

8.2.4 お問い合わせ内容を入力

「お問い合わせ」ウィンドウのお問い合わせ内容の下の方欄をクリックすると、テキスト入力ウィンドウが表示されます。

入力ウィンドウに、お問い合わせの内容を入力します。(日本語入力にするには、「半角／全角」ボタンを押します)

入力が終わったら、「ファイル」→「保存」をクリックします。

テキスト入力ウィンドウが消えて、「お問い合わせ」ウィンドウの「お問い合わせ内容」に、入力内容が反映されます。



図 28.テキスト入力ウィンドウで、お問い合わせ内容を入力



図 29.お問い合わせ内容が反映

8.2.5 メールを送信

「お問合せ」ウィンドウの左下の「送信」をクリックすると、弊社へメールが送信されます。

弊社からの返信をお待ち下さい。

※注意 お問合せで送信された内容は、弊社の商品説明やお問合せに利用されることが有る事をご了承下さい。（ユーザー様個人を特定できるような内容は、公開しないことをお約束させていただきます。）

第9章 参考資料① SECURE Boot を Disabled にする方法

起動時に下写真のようなエラーが表示され、

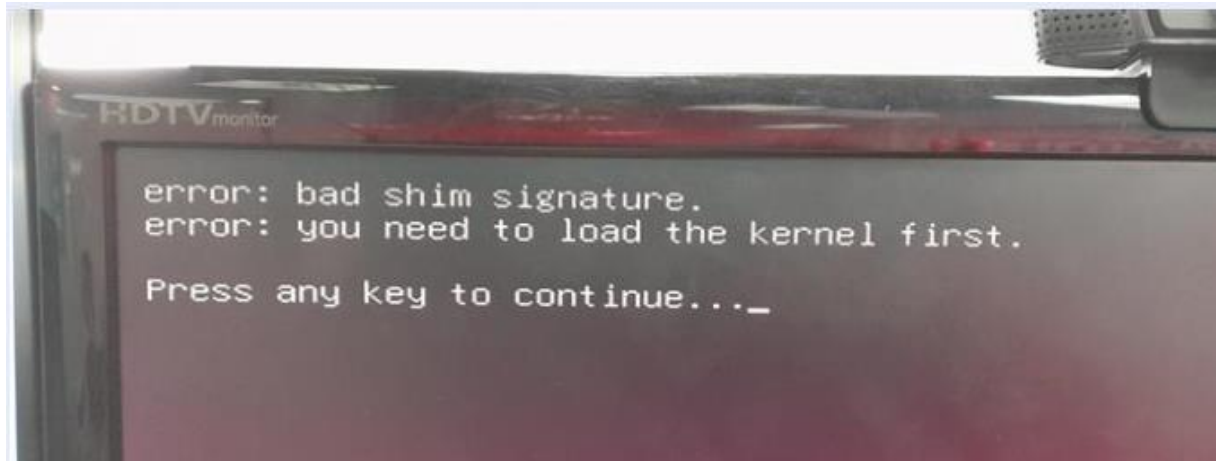


図 9.1 NAS-RESCUE が起動しない

しばらくすると、antix の画面が表示され、NAS-RESCUE が起動しない。

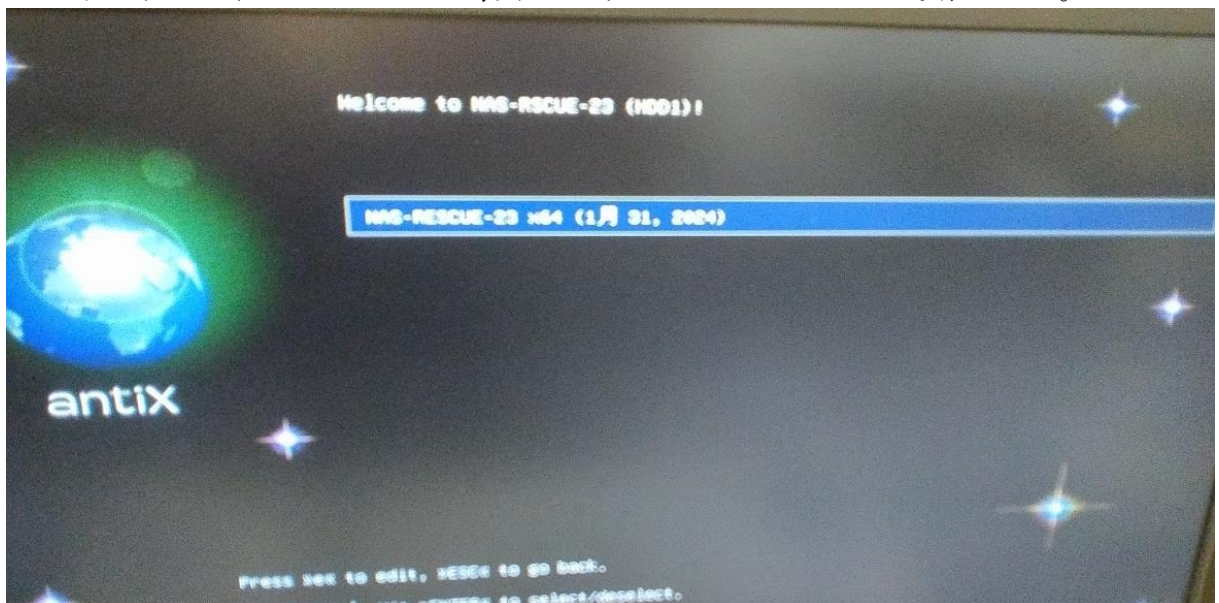


図 9.2 a n t i x が起動しない

対処方法

パソコンの BIOS 設定で、SECURE BOOT を OFF にすることで、解消します。

※注意 NAS-RESCUE を使用後は、必ず、SECURE BOOT を ON に戻して下さい。

設定方法は、パソコンのメーカー、機種によって異なります。「機種名 SECURE BOOT」で検索して下さい。

例 「dynabook SECURE BOOT」 「inspiron SECURE BOOT」

第10章 参考資料② メーカー別 USB から起動する方法

10.1 起動メニューの表示と設定方法

パソコンの設定で、起動メニューを表示させるには、以下の2種類の方法があります。

- ① 今回だけ、起動ドライブを変更する。
→今回だけ、NAS-RESCUE を起動させるので、この方法を採用。
以後は、元の状態ですべてPC は起動します。
- ② 起動ドライブを変更後、ずっと、起動ドライブの優先順位を保持する。
→例えば、Cドライブに Windows、Dドライブに LINUX をインストールして、通常は、LINUX を起動させたいなどと、設定したい場合などは、この方法を採用。この場合、BIOS 設定画面を開き、起動の順序を変更する画面に移動して、HDD 等の起動順位を設定します。(ちょっと面倒)

以上の説明の通り、NAS-RESCUE を今回だけ起動する事になるので、上記①の方法を採用します。

この設定方法は、パソコン（マザーボード）メーカーによって、以下の様に異なります。

また、機種によっても、起動方法が異なる場合も有ります。

もし、起動できない場合は、「パソコンの機種名 起動メニュー」で検索して下さい。

検索例 「LAVIE 起動メニュー」「FMV-N5220FA 起動メニュー」

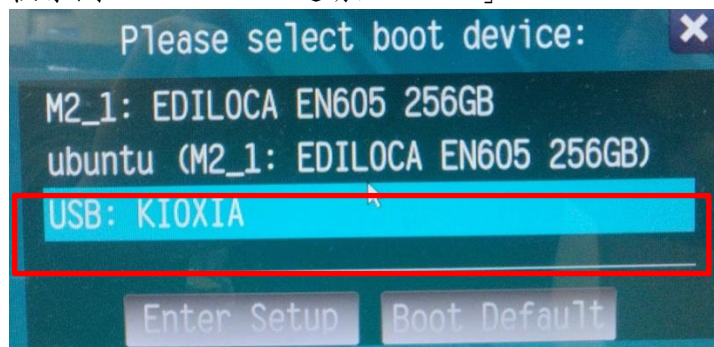


図 10.1 起動メニューの例・・・USB:KIOXIA を選択し、ENTER キーを押すと、NAS-RESCUE が起動します。

10.2 メーカー別起動メニューの起動方法

N o	メーカー名等	起動メニューの起動方法
1	NEC	電源投入後、「F 7」を連打
2	FUJITSU	電源投入後、「F 12」を連打
3	TOSHIBA	電源投入後、「F 12」を連打
4	VAIO	- 「F7」を押しながら電源投入し、すぐに離す
5	DELL	電源投入後、「F 12」を連打
6	HP	電源投入後、「F 9」を連打
7	LENOVO	電源投入後、「F 12」を連打
8	マウスコンピューター	電源投入後、「F 7」か「F 12」を連打
9	フロンティア	電源投入後、「F 2」か「DEL」を連打
10	自作 PC	
	ASRock	電源投入後、「F 11」を連打
	ASUS	電源投入後、「F 8」を連打
	MSI	電源投入後、「F 11」を連打

表 10.1 メーカー別起動メニューの起動方法